取扱説明書

ブルーレイディスクプレーヤー

型名 XV-BP1

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ ご使用の前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に2～4ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

ユーザー登録のおすすめ

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。
ご登録いただきますと製品のサポート情報、ビクターの製品情報や
イベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。
また、今後のより良い製品開発のためのアンケートにもご協力を
お願いいたします。

● **下記アドレスのホームページより、ご登録ください。**
http://www.victor.co.jp/reg/

LVT2007-032C

安全上のご注意ーはじめにお読みください

▼絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示の注意文を無視して、誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。
⚠注意	この表示の注意文を無視して、誤った取り扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

▼絵表示の説明

注意をうながす記号

一般的注意

感電

手を挟まれないよう注意

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水場での使用禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

水ぬれ禁止

行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐに使用をやめる。

- 煙が出ていたりへんなにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解や改造をしない、カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

本機の上に火のついたものを置かない。

火のついたローソクなどを置くと、火災の原因となります。

本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

表示された電源電圧（交流100ボルト） 以外で使用しない。

表示された電源電圧以外では、火災･感電の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。
This set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全だと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取り除いてください。

本機の上に水などの入った容器を置かない。

花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

指定の電源コードを使用する。

- 仕様の違いによる発煙・発火を防ぐため、指定以外の電源コードは絶対に使用しないで下さい。
- 付属のコードは本機以外の機器には使用しないで下さい。

⚠注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。
電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。
電源が切れているときでも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

置き場所に注意する。
次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。
バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。
電源が切れているときでも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

移動するときは、接続したコードや電源プラグを抜く。
接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグが容易に抜き差しできる空間を設ける。
- 電源スイッチを切っただけでは機器は電源から完全に遮断されません。完全に遮断するには、電源プラグを抜いてください。
- 機器はコンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

ディスク挿入口に、手を入れない。
けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。
内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

可動部の作動中には無理な操作を加えない。
一つの動作が終了してから、次の操作に移ってください。誤動作や故障の原因となることがあります。

本機の上に重いものを置かない。
テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

電池の取り扱いに注意する。
電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。
- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス (+) とマイナス (−) を間違えない
- 電池のプラス (+) とマイナス (−) をショートさせない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。使い終わった電池は、自治体の指示に従って廃棄してください。

レーザー製品についてのご注意

1. この製品は JIS C6802 規格に基づくクラス1レーザー製品です。
2. **注意**：機器内部には、危険なレーザー放射部があります。分解、改造はしないでください。
3. 機器内部には、以下のラベルがあります。

CAUTION	CLASS 3B VISIBLE AND INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID EXPOSURE TO THE BEAM.
ADVARSEL	KLASSE 3B SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING VED ÅBNING. UNDGÅ UDSAETTELSE FOR STRÅLING.
ADVARSEL	KLASSE 3B SYNLIG OG USYNLIG LASERTSRÅLING NÅR DEKSEL ÅPENS. UNNGÅ EKSPONERING FOR STRÅLEN.
VARNING	KLASS 3B SYNLIG OCH OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÄR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD. STRÅLEN ÄR FARLIG.
VARO	AVATTAESSA OLET ALTTIINA LUOKAN 3B NÄKYVÄÄ JA NÄKYMÄTÖNTÄ LASERSÄTEILYLLE VARO ALTISTUMISTA SÄTEELLE.
VORSICHT	SICHTBARE UND UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG KLASSE 3B, WENN ABDECKUNG GEÖFFNET. NICHT DEM STRAHL AUSSETZEN.

注意 : ここを開くと可視および/または不可視のクラス3B
レーザー放射が出ます。
ビームに身をさらさないで下さい。

欧州連合のリサイクルマークです。

故障などを防止するため次の場所は避けてください。
・風通しの悪い狭いところ
・バランスの悪い不安定なところ
・寒暖の差が激しいところ
本機の使用環境温度は5゜C～35゜Cです。 この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となります。
・磁気を発生するところ
・OA機 器やけい光灯のすぐそば
・振動の激しいところ

本体のお手入れは
パネル操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布をしめらせるか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとでからぶきしてください。
ご注意
シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げを損なうおそれがあります。

著作権に関するご注意

- BD フォーマットの規格は、著作権保護技術である AACS (Advanced Access Content System) に承認されているため、DVD フォーマットでの CSS (Content Scramble System) と同様、AACS で保護されたコンテンツの再生やアナログ信号出力などに特定の制限が課せられています。本製品の生産後にAACS により承認か変更、またはその両方が行われる可能性があるため、お客様の購入時期により製品の動作や制限が異なります。
  また、BD フォーマットの著作権保護技術として BD-ROM Mark や BD+ も採用されており、BD-ROM Mark か BD+、またはその両方にて保護されたコンテンツでは、再生制限などの特定の制限が課せられています。AACS、BD-ROM Mark、BD+、または本製品に関する詳細については、当社顧客カスタマーセンターにお問い合わせください。
- BD-ROM や DVD ディスクの多数が複製防止のために暗号化されています。このため本製品は、直接テレビと接続し、レコーダー機器は接続しないでください。レコーダー機器に接続すると、不正コピー防止機能のディスクで画像が乱れる原因となります。
- 本製品は、米国特許およびその他の知的財産権によって保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用には、マクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。お客様によるリバース・エンジニアリング、または分解することは法律で禁止されています。
- 米国著作権法およびその他の国の著作権法の下で、無断で録音・録画、利用、展示、頒布をすること、またはテレビ番組、ビデオテープ、BD-ROM ディスク、DVD、CD やその他の媒体の編集をすることは、民事や刑事責任、またはその両方を科せられる場合があります。

商標について

Java およびすべてのJava 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

本機は、米国特許: 5,451,942 号、5,956,67 号、5,974,380 号、5,978,762 号、6,487,535 号、または米国およびその他の国での登録済み特許、または特許申請中の実施権に基づき製造されています。DTS は DTS, Incの登録商標であり、また、DTS ロゴ、記号、DTS-HD および DTS-HD Advanced Digital Out は DTS 社の商標です。© 1996-2008 DTS 社 不許複製。

HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI licensing LLC の商標または登録商標です。

「BD-LIVE」ロゴは、Blu-ray Disc 推進団体の商標です。

「DVD ロゴ」は、DVD フォーマットロゴライセンス (株) の商標です。

「x.v.Color」はソニー株式会社の商標です。

「Blu-ray Disc」は商標です。

「BONUSVIEW」はBlu-ray Disc Association の商標です。

本機は、AVC Patent Portfolio License 及びVC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。(i) AVC 規格及びVC-1 規格に準拠する動画（以下、AVC/VC-1 ビデオ）を記録する場合(ii) 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVC/VC-1 ビデオを再生し、ライセンスを受けた提供者から入手されたAVC/VC-1 ビデオを再生する場合。ライセンスの一切の譲渡、またはその他のいかなる使用も含めて禁止する。詳細については米国法人 MPEG LA,LLC。http://www.mpegla.com をご参照ください。

「AVCHD」および「AVCHD」ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。

目次

ご使用の前に 6-12

接続と設定 13-23

操作 24-32

その他 33-37

ご使用の前に

本機を正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みのうえ、今後のために保管してください。

⊘ 記号の表示について

操作中でのテレビ画面に、「⊘」が表示されたときは、この取扱説明書で説明されている機能が、その特定のメディアで利用できないことを示しています。

この取扱説明書で使用されている記号

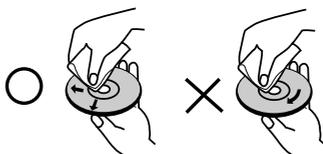
タイトルに下記の記号のある項目は、その記号のディスクだけに適用されます。

ALL 以下のリストのすべてのディスク
- **BD** BD-ROMディスク
- **DVD** DVDビデオ、ビデオモードまたは VRモードでファイナライズされた DVD-R/RWおよび+R/+RW
- **AVCHD** AVCHD 形式の DVD-R/RWおよび+R/+RW
- **DivX** DivX ファイル
- **ACD** オーディオCD
- **MP3** MP3 ファイル
- **WMA** WMA ファイル
- **PHOTO** 写真ファイル

ディスクについてのご注意

ディスクの取り扱い
ディスクの再生面には手を触れないでください。表面に指紋が付かないように、ディスクの両端を持ちます。ディスクに紙やテープなどを絶対に貼らないでください。

ディスクの保管
ご使用後はディスクを所定の保護ケースに入れて保管してください。ディスクを直接日光の当たる場所や高温な場所に置かないでください。絶対に直射日光の当たる車内に放置したままにしないでください。

ディスクのお手入れ
指紋やほこりによるディスクの汚れは、画質の乱れや音声の低下の原因になります。再生する前に、きれいな布でディスクを拭き取ってください。ディスクの中央から外へ向かって拭いていきます。

アルコールやベンジン、シンナー、市販のクリーナー、または古いアナログレコード用の静電防止スプレーなどの溶剤は使用しないでください。

結露

本機を温度の低い場所から温かい場所に移動させた直後には操作をしないでください。2、3 時間放置してから、操作してください。移動直後に本機を使用すると、ディスクや内部部品が破損する恐れがあります。

本機の取り扱い

本機を運送するとき
製品の出荷カートンと梱包材は保管してください。本機を運送する必要が生じたときは、破損を避けるために、工場出荷時に梱包されていたように再梱包してください。

外部表面をクリーンな状態に保つ
- 本機のそばで殺虫剤スプレーなどの揮発性の液体を使用しないでください。
- 強く拭き取ると表面を傷つけることがあります。
- ゴムやプラスチック製品を長時間本機に触れたままにしないでください。

本機のお手入れ
本機のお手入れには、乾いた柔らかい布をご使用ください。表面がかなり汚れている場合は、薄めた洗剤液で軽く湿らせた柔らかい布で拭き取ってください。
アルコールやベンジン、シンナーなどの強い溶剤は、本機の表面を傷つける恐れがありますので使用しないでください。

本機のメンテナンス
本機は精密機器です。ピックアップレンズやディスクドライブ部分が汚れたり消耗したりすると、画質が低下する可能性があります。

詳細についてはお近くのサービスステーションにお問い合わせください。

再生できるディスク

BD-ROM(1層/2層)
BD-R/RE(BDMV,BDAV)

DVD-VIDEO

DVD-R
- ビデオモードで記録され、ファイナライズされているディスク
- デュアルレイヤーディスク対応

DVD-RW
- VRモードやビデオモードで記録され、ファイナライズされているディスク

+R
- ビデオモードで録画され、ファイナライズされているディスク
- デュアルレイヤーディスク対応

+RW
- ビデオモードで記録され、ファイナライズされているディスク

オーディオCD

CD-R/CD-RW

AVCHD規格 (Advanced Video Codec High Definition)

- 本機は、AVCHD規格で記録されたディスクを再生できます。このディスクは通常、ビデオカメラの録画に使用されます。
- AVCHD 規格は、ハイビジョンデジタルビデオカメラの記録方式です。
- MPEG-4 AVC/H.264 フォーマットは、従来の画像圧縮方式に比べ、さらに高い圧縮率で画像を圧縮することができます。
- 本機は、「x.v.Color」規格を採用している AVCHD ディスクを再生できます。
- 記録状態によっては、再生できない AVCHD 規格のディスクもあります。
- AVCHD 規格のディスクは、ファイナライズする必要はありません。
- 「x.v.Color」は、通常の DVD ビデオカメラのディスクと比べ広い色域を提供できます。

リージョンコード

本機の背面には、リージョンコードが印刷されています。本機では、背面に印刷されたラベルと同じリージョンコード、またはリージョンコード「ALL」のBD-ROM、DVD ディスクのみ再生することができます。

お知らせ:

- 記録装置、またはCD-R/RW、ビデオモードで録画されたDVD-R/RWおよび+R/+RWは、ディスクの状態によっては本機で再生できない場合があります。
- ディスクのいずれの面（レーベル面および録画面）にも、シールやラベルなどは絶対に貼らないでください。
- 特殊な形のディスク（ハート型や八角形など）は使用しないでください。故障の原因になります。
- ソフトウェアの記録方法やファイナライズによっては、記録したディスク（CD-R/RW または DVD-R/RW および+R/+RW）が再生できない場合があります。
- パソコン、DVDレコーダー、CDレコーダーで記録した DVD-R/RWおよび+R/+RW や CD-R/RW ディスクは、ディスクが破損また は汚れていたり、本機のレンズに汚れや結露があると、再生できない場合があります。
- パソコンを使って記録したディスクは、ディスクを作成する際に使用したアプリケーションのソフトウェアの設定によって、共通フォーマットで記録されていても再生できない場合があります。（詳細についてはソフトウェアの発売元にお問い合わせください。）
- 本プレイヤーは、ブルーレイディスク以外の 8 cm サイズのディスクに対応しています。

BD-ROM ディスクの機能

BD-ROM ディスクは、片面一枚で DVD の約 5 〜 10 倍の 25 GB（1 層）、または 50 GB（2 層）の容量があります。
また BD-ROM ディスクは、業界で最も高品質の HD 映像（最大 1920 x 1080 画素）もサポートしています。映像を高画質で楽しむことができる大容量ディスクです。

- 本書に記載するBD-ROMディスクの機能は、使用するディスクにより変わります。
- また外観やナビゲーション機能もディスクによって変わります。
- 本書の記載する機能のすべてが、ディスクに搭載されているわけではありません。
- BD-ROM のハイブリッド・ディスクは、BD-ROM 層と DVD 層（または CD 層）の両方を片面に備えています。本機ではこのようなディスクは、BD-ROM 層のみが再生されます。

映像の特性

映画などを記録して市販されている BD-ROM のフォーマットは、MPEG-2、MPEG4 AVC (H.264) に加え SMPTE VC1 のような先進的ビデオコーデックにも対応しています。
HDビデオの以下の解像度にも対応しています。

- 1920 x 1080 HD
- 1280 x 720 HD

高解像度での再生

BD-ROM ディスクで 高解像度のコンテンツを楽しむには、HDTV が必要です。
また高解像度コンテンツを鑑賞するのに、HDMI 出力が必要なディスクもあります。BD-ROM ディスクによる高解像度コンテンツの機能は、お使いのテレビの解像度によって制限される可能性があります。

グラフィック・プレーン

HDビデオレイヤーとして、2つのフル HD 解像度（1920x1080）のグラフィック・プレーン (層) を利用できます。1つのプレーンは映像関連の、フレームに正確な画像（字幕など）に対応し、残り 1つのプレーンは画面操作ボタンやメニューなどのインタラクティブなグラフィック要素に対応します。
どちらのプレーンも、ワイプ、影、スクロールなどの多様な効果に利用できます。

グラフィク・プレーン

HD ビデオ

音声メニュー

メニュー項目をハイライトまたは選択すると、ボタンのクリック音やハイライトして選択したメニューの音声説明を聞くことができます。

マルチページ/ ポップアップメニュー

従来の DVDビデオでは、メニュー画面に新しくアクセスするごとに本編の再生が中断されます。BD-ROM ディスクでは本編再生を中断することなくディスクからデータの読み込みができるため、メニュー画面を複数のページに重ねて展開することができます。
音声や映像を背景で再生しながら、メニュー画面を操作したり、別のメニュー項目を選択することができます。

インタラクティブ機能

特定の BD-ROM ディスクでは、アニメ化されたメニューやトリビアゲーム、またはその両方を楽しめるものもあります。

スライドショーの閲覧

BD-ROM ディスクでは、音声を再生したままの状態で、いろいろな静止画像を閲覧することができます。

字幕

BD-ROM ディスクに搭載されている機能によっては、字幕のフォント、スタイル、サイズ、色を選択できる場合があります。また字幕はアニメ化、スクロール、表示や非表示もできます。

BD-J インタラクティブ機能

BD-ROM フォーマットは、インタラクティブ機能として Java に対応しています。「BD-J」はインタラクティブな BD-ROM のタイトルにて、多くの機能をコンテンツプロバイダから提供できます。

BD-ROM ディスクの互換性

本機は BD-ROM Profile 2 に対応しています。

- BD-LIVE（BD-ROM規格バージョン2 Profile 2）をサポートするディスクは、BONUSVIEW (ボーナスビュー) に加え、インターネットに接続することでインタラクティブ機能に対応できます。
- BONUSVIEW（BD-ROM バージョン2 Profile 1 version 1.1/Final Standard Profile）をサポートするディスクは、仮想パッケージやピクチャー・イン・ピクチャー機能に対応しています。
- 詳細については、28 ページの「BD ビデオで BD-LIVE または BONUS VIEW を楽しむ」を参照してください。

互換性についての注意

- BD-ROM は新しい規格のため、特定のディスク、デジタル接続、およびその他の互換性などで問題が発生する可能性があります。互換性による問題が発生した場合は、当社が承認したカスタマーサービスセンターにご連絡ください。
- 高解像度のコンテンツを観賞したり、標準の DVD コンテンツをアップコンバージョンするには、HDMI に対応した入力端子、または HDCP 対応の DVI 入力端子のあるディスプレイ機器が必要です。
- BD-ROM や DVD ディスクには、操作や機能の使用を制限するものもあります。
- 本機の音声出力に HDMI 接続を使用すると、ドルビーTrueHD、ドルビーデジタルプラス、DTS-HD は、最大 7.1 チャンネルの音声出力が対応できます。
- USB フラッシュメモリーを利用して、インターネットでダウンロードしたコンテンツのディスク関連の情報を保存することができます。

必要なシステム環境

高解像度の映像を再生するには:

- D端子、コンポーネント、または HDMI 入力端子を装備した高解像度ディスプレイ が必要です。
- 高解像度コンテンツを収録した BD-ROM ディスクが必要です。
- コンテンツによっては、HDMI または HDCP 対応 DVI 入力端子のあるディスプレイ機器が必要な場合があります(ディスク作成者により指定されています)。
- 不正コピー防止されているコンテンツでの標準解像度の DVD のアップコンバージョンでは、HDMI または HDCP 対応 DVI 入力端子のあるディスプレイ機器が必要です。

ドルビーデジタルプラス、ドルビー TrueHD、DTS-HD などのマルチチャンネルオーディオの再生には:

- デコーダー (ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、ドルビー TrueHD、DTS、DTS-HD) 搭載のアンプやレシーバが必要です。
- 選択したオーディオフォーマットに対応するメインスピーカー、センタースピーカー、サラウンドスピーカー、およびサブウーファーが必要です。

本機をリセットする

以下のような症状が見られる場合は本機をリセットしてください。

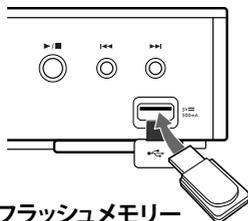
- 電源プラグが接続されているのに電源が入らない、または切れない。
- 前面パネルが機能しない。
- 本機が正常に動作していない。

次の方法で本機をリセットしてください。

- 電源ボタンを 5 秒以上押し続けてください。本機が強制的に再起動します。
- 電源コードを抜き、5 秒以上待ってから再度差し込んでください。

USB フラッシュメモリーを使用する

本機は、USB フラッシュメモリーに記録した動画、音楽、写真などのファイルを再生することができます。

USB フラッシュメモリーの挿入と取り外し

USB フラッシュメモリー

USB フラッシュメモリーを挿入する
まっすぐ奥まで差し込みます。

USB フラッシュメモリーを取り外す
動作の終了を確認してから、USB フラッシュメモリーを取り外します。

お知らせ：

- 本機は FAT16 または FAT32 フォーマットのUSB フラッシュメモリーのみに対応しています。
- USB フラッシュメモリーは、インターネットで BD-LIVE のディスクを楽しむためのローカル記憶領域に使用することができます。
- 再生などの操作中には USB フラッシュメモリーを取り外さないでください。
- パソコンに接続すると追加プログラムのインストールが必要となる USB フラッシュメモリーには対応していません。
- USB フラッシュメモリーは、USB1.1 および USB2.0 のものに対応しています。
- 動画ファイル（DivX/MPEG4 AVC(H.264)）、音楽ファイル (MP3/WMA)、写真フィル (JPEG/PNG/GIF) の再生ができます。 各ファイルの操作についての詳細は、それぞれの関連ページを参照してください。
- データの損失を避けるために、定期的なバックアップをお勧めします。
- カードリーダー、USB 延長ケーブル、または USB ハブを使用すると、USB フラッシュメモリーが認識されない場合があります。
- 本機では動作しない USB フラッシュメモリーがある場合があります。
- デジタルカメラや携帯電話はサポートしていません。
- 本機の USB ポートとパソコンは接続できません。本機をストレージデバイスとして使用することはできません。
- USB ポートに接続されている機器を取り外す場合は、本機のスイッチを切ってから取り外してください。
- USB ケーブルを接続する場合は、長さ 1 m 以内の USB 2.0 ケーブルを使用してください。

USB フラッシュメモリーを使用する

1. USB フラッシュメモリーを接続します。
2. リモコンの ホームボタン を押します。
3. [音楽]、[写真]、または [ムービー] の項目を選択してから、決定を押します。
4. [USB] を選択して 決定を押します。
   [音楽]、[写真]、[ムービー] のメニューが表示されます。メニューの詳細については、30～32 ページを参照してください。

ホーム メニューの使い方

ホームメニューからすべてのメディアにアクセスし、再生や本機の設定を行うことができます。

1. ホームボタンを押して、[ホーム メニュー] を表示します。

2. ◄ / ► でご希望する項目を選び、決定を押します。

   [ムービー] – 映像メディアを再生したり、[ムービー] メニューを表示します。

   [写真] – [写真] メニューを表示します (32 ページ)。

   [音楽] – [音楽] メニューを表示します (31 ページ)。

   [設定] – [設定] メニューを表示します (19 ページ)。

   お知らせ:
   ディスクや USB フラッシュメモリにコンテンツが含まれている場合は、以下のメニューが選択できます。

[設定] メニューについて：

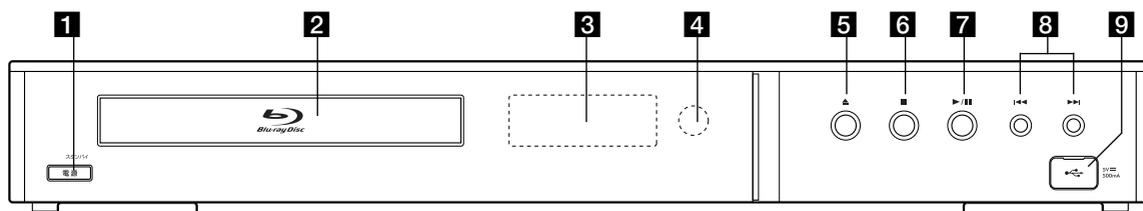
メニュー	ボタン	操作
移動		カーソルを移動する
決定	決定	選択したアイテムを実行する
戻る	戻る	メニューを閉じる

ヒント：

USB フラッシュメモリーとディスクが同時に挿入されている時に、[音楽]、[写真]、または [ムービー] のオプションを選ぶと、メディアを選択するメニューが表示されます。メディアを選択してから、決定を押してください。

例:

お知らせ：
再生中にホームを押すと、本機は停止モードになり [ホーム メニュー] を表示します。

本体前面

1 電源 ボタン
本機の電源をオン/オフします。

2 ディスクトレイ
ディスクをここに挿入します。

3 表示窓
本機の現在の状態を表示します。

4 リモコン受光部
ここに向けてリモコンを操作します。

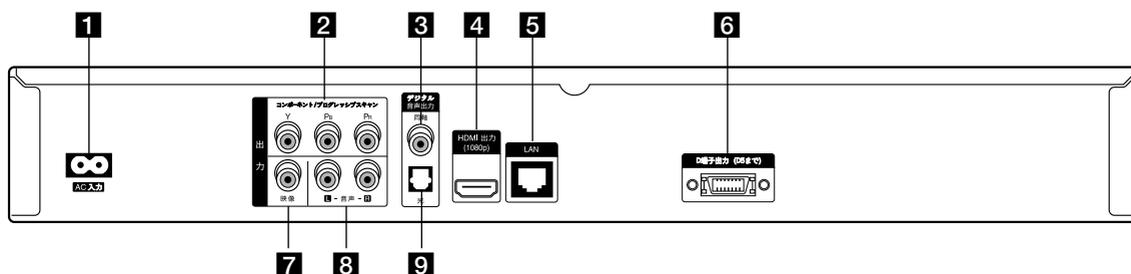
5 ⏏ (開/閉) ボタン
ディスクトレイの開/閉。

6 ■ (停止) ボタン
再生を停止します。

7 ► / ❚❚ (再生/一時停止) ボタン
再生を開始します。
再生を一時停止します。
もう一度押すと、一時停止を解除します。

8 I◄◄ / ►►I (スキップ) ボタン
前や次のファイル/トラック/チャプターに進みます。

9 USB ポート
USB フラッシュメモリーを接続します。

本体背面

1 AC IN 端子
付属の電源コードを接続します。

2 コンポーネント端子
テレビのコンポーネント入力端子に接続します。

3 デジタル音声出力 (同軸) 端子
デジタル (同軸) 音声機器に接続します。

4 HDMI 出力 (タイプ A)
テレビの HDMI 入力端子に接続します (デジタル音声と映像のインターフェースです)。

5 LAN ポート
ご家庭のブロードバンドのネットワークに接続します。

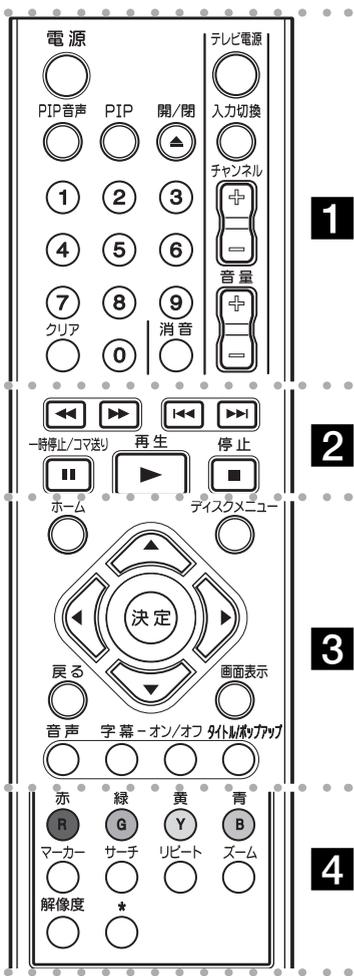
6 D端子出力 (D5 まで)
テレビの D端子入力 (D1~D5) に接続します

7 映像
テレビの映像入力端子に接続します。

8 音声 (L/R) 端子
テレビの 2 チャンネル音声入力端子に接続します。

9 デジタル音声出力 (光) 端子
デジタル (光) 音声機器に接続します。

リモコン

• • • • • 1 • • • • •

電源ボタン: 本機の電源をオン/オフします。

PIP 音声 ♠ ボタン: サブトラック音声をオン/オフします (BD-ROM のみ)。

PIP♠ ボタン: サブトラック映像 (ピクチャーインピクチャー) をオン/オフします (BD-ROM のみ) 。

♠ BD-ROM ディスクのディスクタイプや録画されているコンテンツ、またはその他のメディアにより実行される機能が異なったり、ボタンを押しても何の反応もありません (使用するメディアによって変わります) 。

開/閉 (⏏): ディスクトレイの開/閉をします。

0〜9 番号ボタン : メニューにて項目の番号を選択します。

クリアボタン: 検索メニューのマークや設定したパスワードの番号を解除します。

Victor テレビ コントロール ボタン:

- テレビ電源: テレビの電源をオン/オフします。
- 入力切換: 入力信号に合わせてテレビの入力を切り換えます。
- チャンネル (+/-): 設定されているテレビ チャンネルをアップ/ダウンして切り換えます。
- 音量 (+/-): テレビの音量を調節します。
- 消音: 一時的にテレビの音量を消音します。もう一度押すと解除します。

• • • • • 2 • • • • •

◀◀ / ▶▶ (巻戻し/早送り) ボタン: 巻戻し/早送りをします。

I◀◀ / ▶▶I (スキップ) ボタン: 前や次のファイル/トラック/チャプターに進みます。

II (一時停止/コマ送り) ボタン: 再生を一時停止します。

▶ (再生) ボタン: 再生を開始します。

■ (停止) ボタン: 再生を停止します。

• • • • • 3 • • • • •

ホームボタン: [ホーム メニュー] を表示/終了します。

ディスクメニューボタン: ディスクのメニューを表示します。

矢印ボタン : メニューの項目を選択します。

決定 (◉): 選択したメニューを決定します。

戻る (↶) ボタン: メニューの終了や閉じたり、レジューム再生をします。BD-ROM のディスクによっては、レジューム機能が動作しない場合もあります。

画面表示ボタン: 画面表示を表示/終了します。

音声ボタン: 音声言語、または音声チャンネルを切り換えます。

字幕 ボタン: 字幕言語を切り換えます。

字幕 オン/オフボタン: 字幕をオン/オフします。

タイトル/ポップアップボタン: DVD のタイトルメニューや BD-ROM にポップアップメニューがある場合は表示します。

• • • • • 4 • • • • •

カラー (赤、緑 、黄、青) ボタン: BD-ROM メニューの操作に使用します。[ムービー]、[写真]、[音楽] メニューにも使用します。

マーカーボタン: 再生中、お好きなシーンにマークを付けます。

サーチボタン: 検索メニューを表示/終了します。

リピートボタン: 選択したセクションやシーケンスを繰り返し再生します。

ズームボタン : [ズーム] メニューを表示/終了します。

解像度ボタン: HDMI 出力、D端子出力、コンポーネント/プログレッシブスキャン端子の出力解像度を設定します。

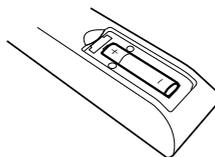
*** :** このボタンは利用できません。

リモコン操作

リモコン受光部にリモコンを向け、ボタン操作します。

注意

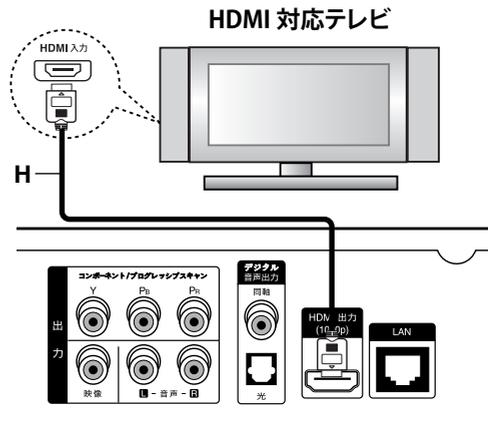
- 古い電池と新しい電池を混ぜたり、標準電池やアルカリ電池など、違うタイプの電池を絶対に混ぜて使用しないでください。
- 小さなお子様の手の届く場所に電池を放置しないでください。

リモコンに電池を入れます

リモコンの裏にある電池カバーを取り外し、単4形乾電池(R03/AAA)の ⊕ と ⊖ の向きを正しく合わせて挿入します。

接続と設定

HDMI の接続

HDMI 入力端子のあるテレビやモニターをお持ちの場合は、HDMI ケーブルを使用して本機に接続することができます。

1. 本機の HDMI 端子を、HDMI 対応のテレビやモニターの HDMI 端子に接続します (**H**)。
   HDMI ケーブル(別売り)
2. テレビの入力モードを HDMI に設定します (テレビの取扱説明書を参照してください)。

お知らせ:

- [設定] メニューの [HDMI] と [サンプリング周波数] 項目で、お使いのテレビが対応している HDMI オーディオ出力と最大サンプリング周波数を選択してください (20 ページ参照)。
- 接続した HDMI 対応のテレビやモニターが本機のオーディオ出力に対応していない場合、HDMI 対応のテレビやモニターのオーディオサウンドが乱れる、あるいは出力されない場合があります。

ヒント:

- HDMI 接続の場合、HDMI 出力の解像度を切り換えることができます (17ページの「解像度の設定」を参照してください)。
- [設定] メニューの [HDMIカラー設定] 項目で、映像出力タイプをHDMI 出力 端子から選択します (19 ページ参照)。

注意:

- 接続がすでに確立されている状態で解像度の切り換えを行うと故障の原因になる場合があります。問題を解決するには、本機の電源を切り、再度電源を入れ直してください。
- HDCP での HDMI 接続に対応していない場合は、テレビ画面は黒画面に変わります。この場合は、HDMI 接続の確認をするか、HDMI ケーブルをはずしてください。
- 画面にノイズやラインなどの乱れがある場合は、HDMI ケーブルを確認してください (通常、長さは4.5 メートルに制限されています)。

お知らせ:

- HDMI や DVI 対応の機器に接続する場合は、以下のことを確認してください。
  - まず本機と HDMI/DVI 機器の電源を切ります。次に、HDMI/DVI 機器の電源を入れ、30 秒ほど待ってから本機の電源を入れます。
  - 接続した機器の映像入力が、正しく本機に設定されているか確認します。
  - 接続する機器は、720x480p、1280x720p、1920x1080i、1920x1080p の解像度の映像入力に対応します。
- HDCP 対応の HDMI や DVI 機器のすべてが本機に対応しているわけではありません。
  - HDCP 対応機器以外では、本機の再生画面ではなく黒い画面になるなど、画像が正しく表示されない場合があります。

接続と設定

テレビとの接続

お持ちの機器の対応をご確認し、以下の接続方法から一つだけ行ってください。

ヒント:
- 接続するテレビやその他周辺機器によって、本機への接続方法は数多くあります。次に記載する接続方法法のうち、一つだけを選んで行ってください。
- 最良の接続を行うために、必要に応じてお持ちのテレビ、ステレオシステム、またはその他周辺機器の取扱説明書をご覧ください。

注意:

— 本機が直接テレビに接続されていることを確認してください。テレビを正しいビデオ入力チャンネルに合わせます。

— 本機の音声出力端子を、お持ちのオーディオシステムの phono 端子（レコードプレイヤー用端子）に接続しないでください。

— お使いのビデオ経由で本機をテレビに接続しないでください。著作権保護の規定により画像が乱れる場合があります。

コンポーネントビデオの接続

Y Pb Pr ケーブルを使用して、本機のコンポーネント/プログレッシブスキャン 端子とテレビの対応する入力端子とを接続します **(C)**。

ヒント:

コンポーネント/プログレッシブスキャン端子を接続すると、映像の出力解像度を切り換えることができます（17ページの「解像度の設定」を参照してください）。

D端子の接続

D端子ケーブルを使用して、本機の D端子出力とテレビの対応する入力端子とを接続します **(D)**。

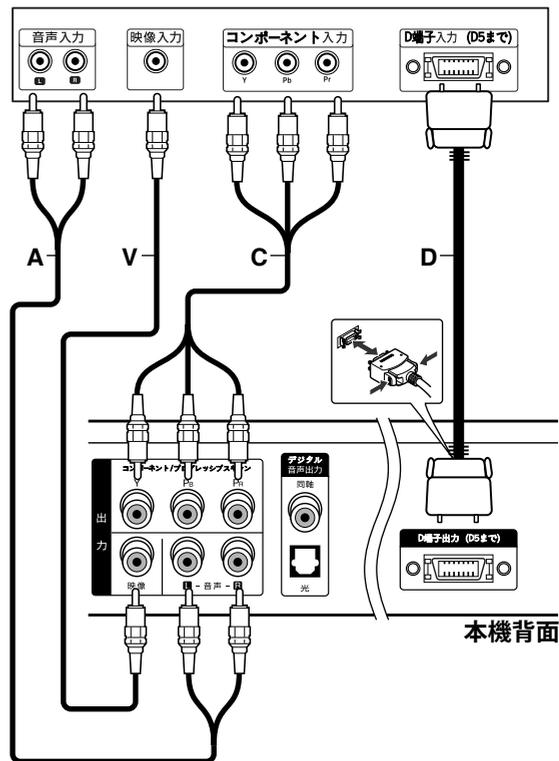
ヒント:

D端子出力を接続すると、映像の出力解像度を切り換えることができます（17ページの「解像度の設定」を参照してください）。

映像の接続

ビデオケーブルを使用して、本機の映像出力端子をテレビの映像端子に接続します **(V)**。

オーディオ（左/右）の接続

オーディオケーブルを使用して、本機の音声出力端子の左と右を、テレビの音声入力端子の左と右に接続します **(A)**。

アンプとの接続

お持ちの機器の対応をご確認し、以下の接続方法から一つだけ行ってください。

お知らせ:

オーディオ出力では多くの要素が影響するため、詳しくは 36 ページの「本機でのオーディオ出力の仕様」をご覧ください。

2 チャンネルオーディオ出力端子とアンプを接続する

オーディオケーブルを使用して、本機の音声出力端子の左と右を、お持ちのアンプ、レシーバー、またはステレオシステムのオーディオ端子の左と右に接続します **(A)**。

デジタルオーディオ出力端子とアンプとを接続する (光または同軸)

1. 本機のデジタル音声出力端子と、お持ちのアンプの対応する端子（光 **O** または 同軸 **X**）を接続します。別売りのデジタルオーディオケーブル（光 **O** または 同軸 **X**）をお使いください。
2. また本機のデジタル音声出力の設定をする必要があります（20ページの「[オーディオ] メニュー」を参照してください）。

HDMI 出力とアンプを接続する

1. 本機のHDMI 出力端子と、お持ちのアンプの対応する端子を接続してください。HDMI ケーブルを使用してください **(H1)**。
2. また本機のデジタル音声出力の設定をする必要があります（20ページの「[オーディオ] メニュー」を参照してください）。

ヒント:
お持ちのアンプに HDMI 出力端子がある場合は、HDMI ケーブル **(H2)** を使用して、アンプの HDMI 出力端子をお持ちのテレビの HDMI 入力端子に接続してください。

マルチチャンネルデジタルサウンド

デジタルマルチチャンネルによる接続で、最高の音質でのサウンドをお楽しみいただけます。本機が対応するオーディオフォーマットのうちの一つ以上に対応しているマルチチャンネル オーディオ/ビデオレシーバーが必要です。レシーバーの取扱説明書、またはレシーバー前面にあるロゴをご確認ください (PCM ステレオ、PCM マルチチャンネル、ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHD、DTS、DTS-HD)。

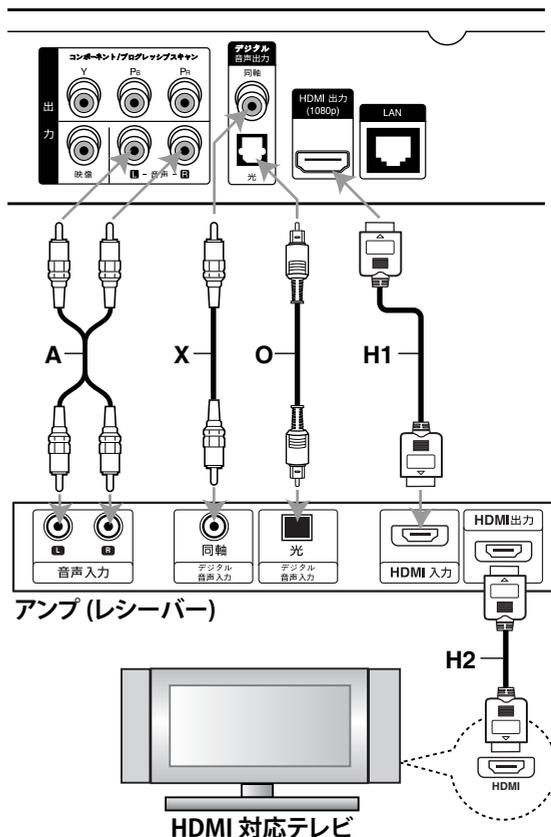
お知らせ:

- [設定] メニューの [SPDIF]、[HDMI]、そして [サンプリング周波数] 項目で、お使いのアンプ（またはオーディオ/ビデオレシーバー）が対応するデジタルオーディオ出力と最大サンプリング周波数を選択してください（20 ページ参照）。
- デジタルオーディオ接続（SPDIF または HDMI）にて、[SPDIF] または [HDMI] 項目が [プライマリパススルー] に設定されていると、BD-ROM のディスクメニューのボタン音が出力されない場合があります。
- デジタル出力でのオーディオフォーマットが、お持ちのレシーバーに互換性のない場合は、大きく歪んだ音声が出力されるか、まったく出力されません。
- お持ちのレシーバーがマルチチャンネルのデジタルデコーダーを搭載している場合にのみ、デジタルオーディオからのマルチチャンネルのデジタルサウンドをお楽しみいただけます。
- お使いのディスクのオーディオフォーマットをオンスクリーン・ディスプレイ機能で確認するには、音声ボタンを押してください。

本機背面

アンプ (レシーバー)

HDMI 対応テレビ

接続と設定

インターネット接続

本機は背面パネルの LAN ポートから、ローカルエリアネットワーク（LAN）に接続することができます。

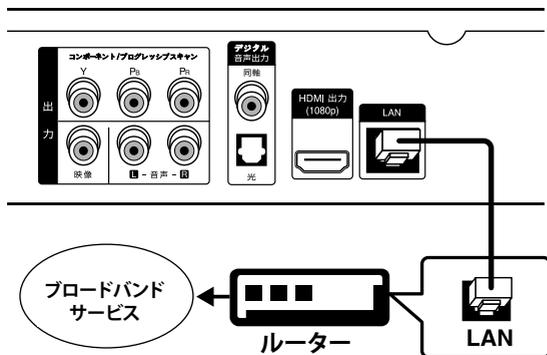
実際に LAN に接続してから、本機のネットワークコミュニケーションを設定してください。これは [設定] メニューから行うことができます。詳細については、22 ページの [ネットワーク] メニュー」をご覧ください。

LAN ケーブルを使用して、本機の LAN ポートをお持ちのモデムかルーターの LAN ポートに接続してください。市販の LAN ストレートケーブルをご使用してください（RJ45 形状のコネクタで、カテゴリー5 (CAT5) 準拠以上のケーブル）。

本機をブロードバンド回線に接続することで、BD-LIVE 機能をご利用いただけます（28 ページ参照）。

注意：

- LAN ケーブルの抜き差しは、プラグの部分を持って行ってください。LAN ケーブルを抜くときは、ケーブルを引かずにプラグのツメを押しながら抜きます。
- 電話用のモジュラーケーブルを LAN ポートに接続しないでください。
- 接続にはいろいろな方法がありますので、お客様がご利用されている電話会社やインターネットサービスプロバイダの仕様に従ってください。

本機背面

お知らせ：

- インターネットサービスプロバイダ（ISP）によっては、サービス条件が決められており、インターネットサービスに接続できる機器の数が限られている場合があります。詳細については、お使いの ISP にお問い合わせください。
- 弊社は、お客様がご利用されているブロードバンド回線での接続、またはその他接続機器から起こるコミュニケーションエラーや故障が原因での、本機やインターネット接続での機能不能、またはその両方についての一切の責任を負いません。
- また弊社は、ご利用のインターネット接続に関するトラブルには一切の責任を負いません。
- 弊社では、インターネット接続機能からご利用できる BD-ROM ディスク機能の作成や提供は行っておりません。また、それらの機能や将来の利用性などについての責任も負いません。インターネット接続でご利用可能なディスク関連のマテリアルの中には、本機と互換性のないものもあります。このようなコンテンツについてのご質問は、ディスクの製造メーカーにお問い合わせください。
- インターネットのコンテンツには、ブロードバンドの接続が必要です。
- 正しく接続と設定がされていても、インターネットのコンテンツの中には、ご利用のインターネットサービスの回線の渋滞、質、帯域幅など、コンテンツのプロバイダー側の問題などが理由で正常に作動しない場合があります。
- ご利用しているブロードバンド回線の接続を提供しているインターネットサービスプロバイダ（ISP）で設定された制限により、インターネット接続の操作が正しくできない場合もあります。
- 接続料やその他 ISP より請求される手数料は、すべてお客様のご負担となります。
- 10BASE-T または100BASE-TX での LAN ポートの接続が本機には必要です。ご利用のインターネットサービスがこのような接続に対応していない場合は、本機との接続はできません。
- xDSL サービスをご利用になるには、ルーターが必要です。
- DSL サービスをご利用するには DSL モデムが必要です。またケーブルモデムサービスをご利用するにはケーブルモデムが必要です。ご利用の ISP のアクセス方法と契約内容によっては、本機に搭載されているインターネット接続の機能をご利用できなかったり、同時に接続できる機器の数が制限されている可能性もあります（ご利用の ISP の契約が 1 台のみの接続に制限されている場合は、パソコンの接続中に本機を接続できない可能性があります）。
- ご利用の ISP の規制や制限によっては、「ルーター」を使用できない、またはルーターの使用が制限されている可能性があります。詳細については、ご利用の ISP に直接お問い合わせください。
- MAC ADDRESS を確認する際に、ご利用の ISP が本機からのネットワーク接続を拒否する場合があります。このような場合は、ご利用の ISP に MAC ADDRESS の初期化をご依頼してください。

解像度の設定

本機では、HDMI出力、D端子出力、コンポーネント/プログレッシブスキャン端子からの映像を、いくつかの解像度にて出力することができます。

[設定] メニューか、または停止モードで解像度ボタンを押して解像度を切り換えます。

お知らせ：

ビデオ出力の解像度には複数の要因が影響するため、次ページの「解像度設定で選択できる解像度」を参照してください。

[自動] — HDMI 出力端子が、ディスプレイの基本情報を提供するテレビ（EDID）に接続されていると、接続されているテレビに最適な解像度を自動的に選択します。コンポーネント/プログレッシブスキャン端子や D端子出力に接続すると、解像度は初期設定である 1080i の解像度に自動的に変換されます。

1080p — 1080 本のプログレッシブスキャン（順次走査）方式映像出力。

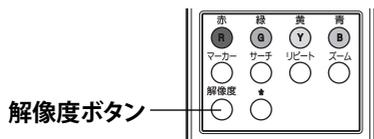
1080i — 1080 本のインターレーススキャン（飛び越し走査）方式映像出力。

720p — 720 本のプログレッシブスキャン（順次走査）方式映像出力。

480p — 480 本のプログレッシブスキャン（順次走査）方式映像出力。

480i — 480 本のインターレーススキャン（飛び越し走査）方式映像出力。

解像度ボタンを使用した解像度の変更方法

停止モード中に解像度ボタンを繰り返し押して解像度を切り換えます。

[設定] メニューを使用した解像度の変更方法

1. ホームを押して、[ホーム メニュー] を表示します。
2. [設定] を選択してから決定を押します。[設定] メニューが表示されます。
3. ▲ / ▼ で [表示] の項目を選択してから、▶ を押して第 2 階層へと移動します。
4. ▲ / ▼ で [解像度] の項目を選択してから、▶ を押して第 3 階層へと移動します。

5. ▲ / ▼ で希望する解像度を選択してから決定を押して設定を終了します。

接続やメディアフォーマットに応じて選択できる解像度

HDMI 出力端子との接続

- 解像度をご自身で選択してテレビの HDMI 端子に接続しても、お持ちのテレビがその接続に対応しない場合は、解像度の設定は [自動] に設定されます。
- [1080p モード出力] の項目を [24 Hz] に設定している場合、接続されているテレビの仕様と優先設定、または BD-ROM ディスクに収録されたコンテンツのネイティブビデオのフレームレートによって、1080p のビデオ出力フレームレートは 24Hz か 60Hz のどちらかに自動設定される場合があります。

コンポーネントビデオ出力 / D端子出力の接続

- 著作権保護されているメディアにて 720p、1080i、1080p の解像度に設定した場合、コンポーネント/プログレッシブスキャン端子と D端子出力からの実際の出力解像度は、480p となります。
- 解像度が 1080p に設定されていても、著作権保護されていない BD や DVD の再生時は 1080i の解像度で出力されます。
- BD または DVD のビデオストリームでは、アナログ出力のアップコンバートができない可能性があります。

映像端子との接続

- 映像端子からの解像度は、常に 480i で出力されます。

お知らせ：

- お持ちのディスプレイによっては、画像が消えたり、不自然な画像が表示される可能性のある解像度設定があります。この場合、画像が再表示されるまで、ホームを押してから、解像度を繰り返し押してください。
- 本機では、すべての映像出力端子から同時に出力される仕様となっています。ただし HDMI 出力の解像度は、コンポーネント映像出力と D5 ビデオ出力からの出力解像度と異なる場合があります。
- 1080p/24Hz の映像出力が HDMI 接続から出力されていると、映像端子、D端子出力端子、コンポーネント/プログレッシブスキャン端子からは映像信号は出力されません。

解像度設定で選択できる解像度

● 著作権保護されていないメディアを再生する場合

ビデオ出力 / 解像度の設定	HDMI 出力	コンポーネント/プログレッシブスキャン, D端子出力
480i	480i	480i
480p	480p	480p
720p	720p	720p
1080i	1080i	1080i
1080p / 24Hz	1080p / 24Hz	1080i / 60Hz *
1080p / 60Hz	1080p / 60Hz	1080i / 60Hz

● 著作権保護されているメディアを再生する場合

ビデオ出力 / 解像度の設定	HDMI 出力	コンポーネント/プログレッシブスキャン, D端子出力
480i	480i	480i
480p	480p	480p
720p	720p	480p
1080i	1080i	480p
1080p / 24Hz	1080p / 24Hz	480p*
1080p / 60Hz	1080p / 60Hz	480p

* 1080p/24Hz の映像出力が HDMI 接続から出力されていると、映像端子、D端子出力端子、コンポーネント/プログレッシブスキャン端子からは映像信号は出力されません。

初期設定

設定メニューを使って、画像や音声などの項目に、いろいろな調整を行うことができます。字幕や設定メニューの言語設定もできます。各設定メニューの項目についての詳細は、19 ～ 23 ページを参照してください。

メニューの表示と終了方法:
ホームを押して、ホームメニューを表示させます。[設定] を選択してから決定を押し、設定メニューを表示します。
戻るまたはホームを押して設定メニューを終了します。

次の階層への移動:
リモコンの ▶ を押します。

前の階層への移動:
リモコンの ◀ を押します。

一般的な操作

1. ホームを押して、ホームメニューを表示させます。
2. [設定] を選択してから、決定を押します。設定メニューが表示されます。

3. ▲ / ▼ で希望するオプションを選択してから、▶ を押して第 2 階層へと移動します。画面上に、選択した項目の現在の設定と代替設定が表示されます。
4. ▲ / ▼ で第 2 希望の項目を選択してから、▶ を押して第 3 階層へと移動します。
5. ▲ / ▼ で希望する設定を選択してから、決定を押して設定を終了します。項目によっては、さらに別の段階があります。
6. 戻るまたはホームを押して設定メニューを終了します。

[表示] メニュー

縦横比

[4:3 レター ボックス] — 4:3 のアスペクト比である従来サイズのテレビが接続されている場合に選択します。ワイドスクリーンの画像では、上下に黒帯が付いた状態で映像を表示します。

[4:3 パン スキャン] — 4:3 のアスペクト比である従来サイズのテレビが接続されている場合に選択します。ワイドスクリーンの画像では、テレビ画面に映像が収まるようにカットされて表示されます。映像の両側が切り落とされます。

[縦横比(16:9)] — 16:9 のアスペクト比であるワイドテレビが接続されている場合に選択します。4:3 の映像では左右の両側に黒帯が付いた状態で、オリジナルの 4:3 アスペクト比で表示されます。

[16:9 ワイド] — 16:9 のアスペクト比であるワイドテレビが接続されている場合に選択します。4:3 の映像が、テレビ画面の全体に合わせるために水平方向（左右）に引き伸ばされます。

解像度

D端子、コンポーネント、HDMI からの映像信号の出力解像度を設定します。解像度の詳細については、17 ページの「解像度の設定」を参照してください。

1080pモード出力

解像度を 1080p に設定した場合、1080p/24Hz 入力に対応した HDMI 端子のあるディスプレイで映画のフィルム映像（1080p/24Hz）をスムーズに表示するには、[24Hz] を選択します。

お知らせ:
- [24Hz] を選択した場合、ビデオと映画で映像を切り換えると、画像が乱れる場合があります。その場合は [60Hz] を選択してください。
- [1080pモード出力] が [24Hz] に設定されていても、お持ちのテレビが 1080/24p に対応していない場合は、ビデオ出力の実際のフレーム周波数は、ビデオのソースフォーマットに合うように 60Hz に変更されます。
- 1080p/24Hz の映像出力が HDMI 接続から出力されていると、映像端子、D端子出力端子、コンポーネント/プログレッシブスキャン端子からは映像信号は出力されません。
- 1080p/24Hz を設定する場合は、解像度の設定において [1080p] と [1080p モード出力] の項目を [24Hz] に設定してください。

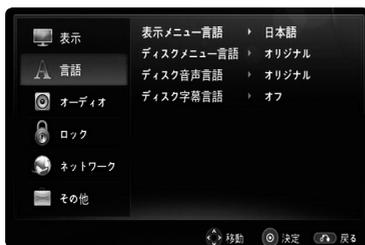
HDMIカラー設定

HDMI 出力端子からの出力の種類を選択してください。この設定については、お持ちのディスプレイ機器の取扱説明書を参照してください。

[YCbCr] — HDMI 対応のディスプレイ機器への接続時に選択します。

[RGB] — RGB ディスプレイ機器への接続時に選択します。

お知らせ:
HDMI 出力端子を DVI ディスプレイ機器に接続する場合は、[HDMIカラー設定] は自動的に [RGB] に切り換ります。

[言語] メニュー

表示メニュー言語

[設定] メニューとオンスクリーン ディスプレイの言語を選択します。

ディスクメニュー言語 / ディスク音声言語 / ディスク字幕言語

オーディオ トラック（ディスク オーディオ）、字幕、そしてディスク メニューで表示したい言語を選択します。

[オリジナル] — ディスクが収録された時に使用された言語を参照します。

[その他] — 決定を押して別の言語を選択します。33 ページに記載された言語コードから表示したい言語の 4 桁数字を数字ボタンを使って入力し、決定を押してください。

[オフ]（ディスク サブタイトル） — 字幕を消します。

お知らせ：
ディスクによっては、言語の設定ができないディスクがあります。

ヒント：
ディスクによって、日本語のメニュー表示や言語、字幕の設定ができない場合があります。その場合は［ディスクメニュー言語］の設定を、［オリジナル］から［日本語］に変更をしてください。

[オーディオ] メニュー

各ディスクで、いろいろなオーディオ出力の選択ができます。お持ちのオーディオシステムの種類に応じて、本機のオーディオ項目を設定してください。

お知らせ：
オーディオ出力では多くの要素が影響するため、詳しくは 36 ページの「本機でのオーディオ出力の仕様」をご覧ください。

HDMI / SPDIF (デジタル音声出力)

HDMI またはデジタル オーディオ入力端子のある機器が、本機のHDMI 出力 端子かデジタル音声出力端子に接続されている場合は、オーディオ出力の形式を選択する必要があります。

[PCM ステレオ] — 本機のHDMI 出力端子またはデジタル音声出力端子を、2 チャンネル ステレオのデジタルデコーダ機器に接続する場合に選択します。

[PCM Multi-Ch] (HDMI 接続のみ) — 本機のHDMI 出力端子をマルチチャンネルのデジタルデコーダ機器に接続する場合に選択します。

[DTS再エンコード] — 本機のHDMI 出力端子またはデジタル音声出力端子を、DTS デコーダ搭載機器に接続する場合に選択します。

[プライマリパススルー] — 本機のデジタル音声出力端子またはHDMI 出力端子を、リニアPCM、ドルビーデジタル、ドルビーデジタル プラス、ドルビーTrueHD、DTS、DTS-HD デコーダ搭載機器に接続する場合に接続します。

お知らせ：

- [HDMI] オプションが [PCM Multi-Ch] に設定されているとき、EDID 搭載の HDMI 機器から PCM マルチチャンネル情報が検知できない場合は、オーディオは PCM ステレオとして出力されます。
- 接続されている機器が PCM だけにしか対応していない場合、メニューを変更することはできますが、実際の出力方式には影響しません。

サンプリング周波数（SPDIF オーディオのみ）

[192kHz] — お持ちの AV レシーバーまたはアンプが 192 kHz 周波数に対応可能な場合に選択します。

[96kHz] — お持ちの AV レシーバーまたはアンプが 192 kHz 周波数に対応しない場合に選択します。この周波数を選択すると、お持ちのシステムがデコードできるように、すべての 192 kHz 周波数を 96 kHz に自動変換します。

[48kHz] — お持ちの AV レシーバーまたはアンプが 192 kHz、96 kHz の周波数に対応しない場合に選択します。この周波数を選択すると、お持ちのシステムがデコードできるように、すべての 192 kHz、96 kHz の周波数を 48 kHz に自動変換します。

お持ちの AV レシーバーまたはアンプの取扱説明書をご覧になり、対応可能な仕様をご確認ください。

DRC (ダイナミックレンジコントロール)

ドルビーデジタルかドルビーデジタル プラスでエンコードされたディスクの再生中に、オーディオ出力のダイナミックレンジ（最大の音と最小の音との差）を圧縮することができます。圧縮することで、小音量でも映画などの音をはっきりと聞き取ることができます。この音響効果を楽しむには、DRC を [オン] に設定します。

[ロック] メニュー (視聴制限)

▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタンで [設定] メニューから [ロック] 設定を選択します。
[ロック] 設定は、BD と DVD の再生時のみ利用できます。[ロック] 設定を有効にするには、パスワードを設定し、設定したパスワードを入力する必要があります。

パスワード

パスワードは、作成、変更、削除ができます。

1. [ロック] メニューの [パスワード] を選択してから ▶ を押します。
2. リモコンの数字ボタンを使って 4 桁のパスワードを入力します。

   新しいパスワードを作成するには、[新規] 項目をハイライトしてから決定を押します。新しいパスワードを入力して決定を押します。 確認のため、新しいパスワードをもう一度入力して決定を押します。

   パスワードを変更するには、[変更] 項目をハイライトして決定を押し、それから古いパスワードを入力してから決定を押します。 新しいパスワードを入力して決定を押します。 確認のため、新しいパスワードをもう一度入力して決定を押します。

   パスワードを削除するには、[削除] 項目をハイライトして決定を押し、それから古いパスワードを入力してから決定を押します。パスワードが削除されます。

ヒント:
決定を押す前に入力を間違えた場合は、◀ を押して一つずつ数字を削除してください。

パスワードを忘れてしまった場合

ご自分のパスワードを忘れた場合は、次のステップでパスワードを解除することができます。

1. 本機にディスクが入っている場合は取り出します。
2. [設定] メニューから [ロック]、[パスワード] の順で項目を選択します 。
3. 数字ボタンで「210499」と入力します。
   パスワードが解除されます。

視聴制限レベル DVD

ディスクのコンテンツにより年齢制限が設定されているディスクの再生をブロックします（すべてのディスクに制限が付けられているわけではありません）。

1. [ロック] メニューの [レベル] を選択してから ▶ を押します。
2. この項目にアクセスするには、事前に作成したパスワードを入力する必要があります。パスワードを入力していない場合は、設定するように指示されます。パスワードを入力して決定を押します。確認のため、新しいパスワードをもう一度入力して決定を押します。決定を押す前に入力を間違えた場合は、◀ を押して一つずつ数字を削除してください。
3. ▲ / ▼ ボタンで、1 ～ 8 までのレベルを選択します。

   [レベル 1～8] — レベル 1 は最も制限が厳しく、レベル 8 は最も制限が軽くなります。

   [ロック解除] — ロック解除を選択すると、視聴制限は動作せず、すべてのディスクが再生されます。
4. 決定を押して、レベルの選択を終了します。

視聴可能年齢 BD

BD-ROM の視聴可能年齢制限を設定します。

1. [ロック] メニューの [視聴可能年齢] を選択してから ▶ を押します。
2. 上記 (視聴制限レベル) のステップ 2 を実行します。
3. 数字ボタンで BD-ROM を鑑賞できる年齢制限を入力します。

   [255] — すべての BD-ROM を再生できます。

   [0-254] — BD-ROM に記録された年齢制限によって BD-ROM の再生を禁止します。
4. 決定を押して選択を確定します。

エリアコード

33 ページのリストを基に、DVD ビデオディスクの年齢制限を指定する基準の地域コードを入力してください。

1. [ロック] メニューの [エリアコード] を選択してから ▶ を押します。
2. 上記 (視聴制限レベル) のステップ 2 を実行します。
3. ▲ / ▼ ボタンで最初の文字を選択し、決定を押します。
4. ▲ / ▼ ボタンで 2 番目の文字を選択しから決定を押して、選択を終了します。

[ネットワーク] メニュー

BD-LIVE 機能を使用するには、[ネットワーク] 設定が必要です。
いくつかの BD-ROM ディスクでは、本機をインターネットに接続すると、特別な BD-ROM サイトにアクセスしたりします。例えば、BD-ROM サイトに最新の予告編などのコンテンツが含まれる場合は、本機でダウンロードすることでオンラインのコンテンツを見ることができます。

この機能を利用するために PC に接続する必要はありません。

準備:

- この機能には、常にインターネットに接続されるブロードバンド回線が必要です (16 ページを参照)。
- この機能に対応する BD-ROM ディスクが必要です。すべての BD-ROM に互換性があるわけではありません。

IP モード

DHCP サーバがローカルエリアネットワーク（LAN）上にある場合は、本機は自動的に IP アドレスに割り当てられます。DHCP サーバ機能を搭載したブロードバンドルーターやブロードバンドモデムをご利用の場合は、[自動割り当て] を選択してください。IP アドレスが自動的に割り当てられます。
ネットワークに DHCP サーバがなく、手動で IP アドレスを設定する場合は、[IP設定] オプションから [固定IP] を選択し、[IPアドレス]、[サブネット マスク]、[ゲートウェイ]、[DNSサーバー] を設定します。

ネットワーク設定の確認方法

[IPモード] の項目を選択し、メニューに表示されたネットワーク状態の表示を確認します（ネットワークの状態表示は、ネットワーク設定により変更されます）。

ネットワークをご利用できます

ネットワークのテスト中です

ネットワークをご利用できません

IP 設定

このオプションは、[IPモード] の項目が [固定IP] に設定されている場合にのみご利用できます。▲ / ▼ / ◄ / ► ボタンでフィールドを選択してから、数字ボタンで値を入力してください。[OK] がハイライトされたら、決定を押して終了し、画面を閉じます。

BD-LIVE接続

BD-LIVE 機能を使用する場合は、インターネットへのアクセスを制限することができます。詳細については、28 ページの「BD ビデオで BD-LIVE または BONUS VIEW を楽しむ」を参照してください。

[許可] — すべての BD-LIVE コンテンツへのインターネットアクセスを許可します。

[一部許可] — 所有者証明書のある BD-LIVE コンテンツのみインターネットアクセスを許可します。証明書のないすべての BD-LIVE コンテンツへのインターネットアクセスと AACS オンライン機能は禁止されます。

[禁止] —すべての BD-LIVE コンテンツへのインターネットアクセスが禁止されます。
[禁止] を選択しているときに BD-LIVE 機能を選択すると、画面が黒くなることがあります。停止を押してメインメニューに戻ってください。

お知らせ:

- BD-LIVE を開始すると、インターネットの接続確認が表示されます。
- USB フラッシュメモリーにダウンロードした BD-LIVE のデータが保存されます。

[その他] のメニュー

スキン

初期画面の背景を変更します。

Java フォントサイズ BD

BD-ROM の再生中に、BD-J コンテンツで表示される初期設定のテキストサイズを変更することができます。この設定は、BD-J コンテンツ自体でテキストサイズが設定されていない場合にのみご利用できます。
本機が HD テレビに接続されている場合は、24 より大きいフォントサイズを選択してください。

初期化

本機を工場出荷状態の設定にリセットしたり、BD ストレージを初期化することができます。

1. [初期化] の項目を選択してから ▶ を押します。
2. ▲ / ▼ を押して希望する項目を選んでから、決定を押します。
   確認のメッセージが表示されます。

   [初期設定] — 必要に応じて、本機のすべての設定を工場出荷状態にリセットすることができます。リセットされない項目もあります（年齢制限、パスワード、市外局番など）。

   [BD ストレージ消去] — BD-LIVE 機能でダウンロードしたインターネットコンテンツを、接続した USB フラッシュメモリーから削除します。USB フラッシュメモリーに保存していた BD-LIVE からダウンロードしたコンテンツ以外のファイル (ムービー、音楽、写真ファイルなど) は消去されません。
3. ◀ / ▶ で [はい] または [いいえ] を選択してから決定を押します。

DivX 登録コード

DivX® は DivX, Inc. のデジタルビデオ圧縮技術です。本機は、DivX ビデオ再生用の DivX Certified、または DivX Ultra Certified 製品です。

DivX VOD ファイルを再生するためには、DivX® Certified 製品である本機を登録する必要があります。まず最初に、本機の DivX VOD 登録コードを生成し、登録コードを承認するために提出します。[重要：DivX VOD コンテンツは DivX DRM コピープロテクションにより保護されており、登録された DivX Certified 製品だけが再生することができます。本機の登録コードが承認されていない DivX VOD コンテンツを再生すると、「認可エラー」と表示され、再生することはできません。]
詳しくは、www.divx.com/vod をご覧ください。

[DivX登録コード] がハイライトされたら、決定または ▶ を押すと、本機の登録コードを確認することができます。

お知らせ：
DivX® ビデオ・オン・デマンドからダウンロードしたすべてのビデオは、本機で再生のみを行うことができます。

操作

一般的な再生機能

1. 再生したいディスクの再生面を下にして、トレイに置きます。
2. 再生は、ホームメニューから開始します (10 ページ参照)。

ボタン	操作	ディスク
開/閉 (⏏)	ディスクトレイの開/閉をします。	ALL
► (再生)	再生を開始します。	ALL
決定	メニュー画面 (ディスクメニュー、タイトルメニュー、ポップアップメニュー等) の選択を確定します。	BD DVD
■ (停止)	再生を停止します。	ALL
	ディスクにもよりますが、本機は停止した位置を記憶します。II■ が画面上に表示されます。► (再生) を押すと、停止したシーンから再生を開始します。もう一度 ■ (停止) を押したり、ディスクを取り出すと (■ が画面に表示されます)、記憶した停止位置を解除します **(II■ = レジュームの停止、■ = 完全な停止)**。 **お知らせ:** • レジュームした位置は、電源か開 / 閉ボタンを押すと解除される場合があります。 • BD-J を含む BD ビデオ ディスクでは、レジューム再生機能は動作しません。 • BD-ROM のインタラクティブ タイトルでは、再生中に ■ (停止) を一度押すと、本機は完全な停止モードになります。	BD DVD ACD MP3 WMA AVCHD DivX
II (一時停止/コマ送り)	再生を一時停止するときは、再生中にII (一時停止/コマ送り) を押します。 **ヒント:** オーディオ CD や MP3/WMA の再生中に、II (一時停止/コマ送り) をもう一度押すと、レジューム再生になります。	ALL
	II (一時停止/コマ送り) を繰り返し押して 1 フレームずつコマ送りします。	DVD BD AVCHD DivX
I◄◄ / ►►I (スキップ)	再生中に I◄◄ または ►►I を押すと、次のチャプター/トラック/ファイルに移動したり、再生中のチャプター/トラック/ファイルの先頭に戻ることができます。 I◄◄ を素早く二度押すと、前のチャプター/トラック/ファイルに戻ります。	ALL
◄◄ / ►► (巻戻し/早送り)	再生中に巻戻し/早送り (◄◄ または ►►) を繰り返し押して、希望する早送り/ 巻き戻しのスピードを選択します。 - DVD, BD, AVCHD, DivX: 5 段階 - オーディオCD, MP3, WMA: 3 段階	ALL
	再生一時停止中に、繰り返し ►► を押すとスローモーション再生になります (4 段階スピードの前進のみとなります)。	DVD BD AVCHD DivX
タイトル / ポップアップ	再生中の DVD や BD-ROM にメニューが含まれていると、タイトルメニューやポップアップメニューが画面表示されます。 ディスクによってはメニューが表示されない場合があります。	DVD BD AVCHD
ディスクメニュー	メニューが画面に表示されます。ディスクによってはメニューが表示されない場合があります。	DVD BD AVCHD

次ページに続く →

一般的な再生機能 (続き)

ボタン	操作	ディスク
リピート	**リピート再生:** 再生中にリピートを繰り返し押して、希望するリピートモードを選択します。 DVD, BD, AVCHD: チャプター/ タイトル/ オフ オーディオCD, MP3, WMA, DivX: トラック/ オール/ オフ **お知らせ:** チャプター/トラックの再生中に ▶▶I を押すと、リピート再生は取り消されます。	DVD BD ACD MP3 WMA AVCHD DivX
	区間指定の A-B リピート: 再生中に、リピート再生したい区間の開始地点でリピートを押して [A-] を選択し、希望する区間の終了地点で決定を押します。 通常の再生に戻るには、リピートを繰り返し押して [オフ] を選択します。 **お知らせ:** 3秒以内の短い区間は指定できません。	DVD BD ACD AVCHD DivX
字幕	再生中に字幕を繰り返し押して、希望の字幕言語を選択します。 **お知らせ:** ディスクによっては、字幕変更の選択がディスクメニューからしかできないものがあります。この場合は、タイトル/ ポップアップまたはディスクメニューボタンを押して、ディスクメニューから適切な字幕を選んでください。	DVD BD AVCHD DivX
字幕オン/ オフ	再生中に字幕オン/ オフを押すと、字幕のオン/オフを切り換えることができます。	DVD BD AVCHD DivX
音声	再生中に音声を繰り返し押すと、別の音声言語、オーディオトラックを聞くことができます。 **お知らせ:** • ディスクによっては、オーディオの選択がディスクメニューからしかできないものがあります。この場合は、タイトル/ ポップアップまたはディスクメニューボタンを押して、ディスクメニューから適切な音声を選んでください。 • サウンドを切り換えた直後に、表示サウンドと実際のサウンドとの間に一時的なずれが生じる場合があります。 • BD-ROM ディスクでは、マルチチャンネル オーディオ フォーマット (5.1CH または 7.1CH) は、[マルチ CH] とオンスクリーン ディスプレイに表示されます。	DVD BD AVCHD DivX

一般的な機能のお知らせ:

- 本機の電源を入れたり、ディスクを変更したりすると、初期設定の状態に戻ります。ディスクによっては、特殊なオーディオ出力のあるものもあります。
- BD-ROM にあらかじめ収録されているコンテンツでも、ご利用できない機能もあります。また、他のメディアとは違う方法で動作する場合もあります。

ディスクメニューの画面が表示されたら DVD BD AVCHD DivX

メニューのあるディスクを挿入すると、メニュー画面は最初に表示されます。

◀ / ▶ / ▲ / ▼ ボタンで、ご覧になりたいタイトル/チャプターを選択し、決定を押して再生を開始します。

画面の拡大再生 DVD AVCHD DivX

1. 再生または一時停止モード中に、ズームを押して [ズーム] メニューを表示します。
2. ◀ / ▶ でズームモード (16 段階) を選択します。戻るを押して [ズーム] メニューを終了します。
3. 通常の画面サイズに戻るには、[ズーム] メニューで [オフ] を選択します。

お知らせ:
この機能が動作しないディスクやタイトルがあります。

タイムサーチ DVD BD AVCHD DivX

ディスクの指定した時間から再生を開始します。

1. 再生中に画面表示を押します。
2. ▲ / ▼ を押してアイコンを選択すると、"--:--:--" が表示されます。
3. 再生を開始したい時間を左から右に、時、分、秒の順で入力します。例えば、2 時間 10 分 20 秒のシーンにサーチする場合は、「21020」と入力し、決定を押します。間違った番号を入力した場合は、クリアを押して入力した番号を消去します。その後、正しい番号を入力します。
4. 決定を押して終了します。指定した時間から再生を開始します。

お知らせ:
この機能が動作しないディスクやタイトルがあります。

スキップサーチ DVD BD AVCHD DivX

検索メニューを使って、再生を 15 秒間隔で前後にスキップします。

1. 再生中に、サーチを押して画面に検索メニューを表示します。
2. ◀ / ▶ を押して前後にスキップして再生します。

ヒント:

◀ / ▶ ボタンを押し続けると、ジャンプしたい位置を選択できます。

マーカーサーチ DVD BD AVCHD DivX

マーカーを入力する

マーカーを入力することで、記憶した最大 9 箇所の位置から再生を開始することができます。マーカーを入力するには、ディスク上の登録したい地点で マーカーを押します。マーカーのアイコンがテレビ画面にすぐに表示されます。これを繰り返すことで、9 箇所までマーカーを登録することができます。

マーカーした場面への頭出しと解除

1. サーチを押すと、画面にサーチメニューが表示されます。
2. 数字ボタンを押して、頭出しをしたいマーカーの番号を選択します。登録した場面から再生を開始します。

   または

   ▼ を押してマーカー番号をハイライトします。
   ◀ / ▶ で頭出しや解除をしたい登録場面を選択します。
   決定を押して、登録した場面から再生を開始します。 クリアを押すと、登録した場面はサーチメニューから削除されます。

お知らせ:

- この機能が動作しないディスクやタイトルがあります。
- ■ (停止) を二度押した場合 (完全な停止)、タイトルを変更した場合、ディスクを取り出した場合は、登録したマーカーの位置はすべて解除されます。

別のアングルから見る BD DVD

違うカメラアングルで録画されたシーンがディスクに含まれている場合は、再生中に別のカメラアングルに切り換えることができます。

1. 再生中に画面表示を押します。
2. ▲ / ▼ を押してアングルのアイコンを選択し、◀ / ▶ で希望するアングルを選択します。

ラストシーンメモリー DVD BD

本機は、最後に再生したディスクの最後に再生を止めたシーンをメモリーに記憶します。最後に再生を止めたシーンは、本機からディスクを取り出しても、本機の電源を切っても、メモリーに記憶されます。次回にシーンが記憶されたディスクを挿入すると、自動的にその位置から再生を開始します。

お知らせ:

- 設定はいつでも利用できるようにメモリーに保存されます。
- メモリーされたシーンの再生を開始する前に本機の電源を切ると、ディスクの設定は記憶されません。
- 別のディスクを再生すると、前回再生したディスクのラストシーンメモリー 機能は消去されます。
- ディスクによって、この機能が動作しない場合があります。

カラー (赤、緑 、黄、青) ボタンを使う BD

これらのボタンは、BD-J コンテンツの再生中のみに利用できます。画面が指示したボタンを正しく使用してください。ディスクのコンテンツによって、各ボタンの機能は異なります。

スクリーンセーバー

スクリーンセーバーは、停止モードで約 5 分間経過すると表示されます。スクリーンセーバーが約 5 分間表示されると、自動的に電源が切れます。

ディスク情報のオンスクリーン表示

DVD BD AVCHD DivX

挿入したディスクについての各種情報を、オンスクリーンで表示することができます。

1. 画面表示を押して、いろいろな再生情報を表示します。
   表示される項目は、ディスクタイプや再生状態によって異なります。

2. BD-ROM または DVD の再生中に、▲ / ▼ を押して項目を選択して変更するか、◄ / ► を押して設定を選択します。
   - タイトル/トラック – 現在再生中のタイトル番号/トラック番号/総タイトル数/総トラック数
   - チャプター – 現在再生中のチャプター番号/総チャプター数
   - 時刻 – 再生経過時間
   - オーディオ – 選択されている音声言語やチャンネル
   - サブタイトル – 選択されている字幕言語
   - アングル – 選択されているアングル数/総アングル数
   - リピート – 選択されているリピートモード

お知らせ:

- ボタンを10秒以内に押して操作しないと、オンスクリーン ディスプレイは消えます。
- タイトル番号を選択できないディスクがあります。
- 項目を選択できないディスクやタイトルがあります。
- BD インタラクティブ タイトルの再生でも画面に表示できる設定情報はありますが、変更はできません。

BD ビデオで BD-LIVE™ または BONUS VIEW™ を楽しむ BD

本機では、BONUSVIEW 機能（BD-ROM バージョン2 Profile 1 version 1.1/Final Standard Profile）に対応する BD ビデオにて、ピクチャー・イン・ピクチャー、サブトラック音声、仮想パッケージなどの機能をお楽しみいただけます。BD-LIVE（BD-ROM 規格 バージョン2 Profile 2）をサポートするディスクでは、BONUSVIEW (ボーナスビュー) 機能に加え、インターネットに接続することでインタラクティブ機能に対応できます。

インターネットで BD-LIVE ディスクを楽しむ

本機では BD-LIVE や 新しい BD ビデオに対応しているため、インターネットに接続すると以下のようなインタラクティブ機能をお楽しみいただけます。(利用可能な機能や操作方法は、ディスクによって違います。詳細については、ディスクの説明書を参照してください。）

— 予告編、字幕言語、BD-J などの追加コンテンツを、USB フラッシュメモリーにダウンロードして再生することができます。

— 特殊な映像データなどは、USB フラッシュメモリーにダウンロードしながら再生することもできます。

準備：

- 本機をインターネットに接続し、BD-LIVE 機能が利用できるように設定します (16, 22 ページ参照)。
- この機能を利用するには USB フラッシュメモリーが必要です。USB フラッシュメモリーを接続してください（10ページ参照）。
- 1GB以上の空き容量がある USB フラッシュメモリーをお使いください。
- ディスクを再生する前に USB フラッシュメモリーを接続してください。

注意：

- コンテンツをダウンロードしている最中や、Blu-ray ディスクがディスクトレイにセットさせている状態で、接続されている USB フラッシュメモリーを抜かないでください。接続されている USB フラッシュメモリーが破損するおそれがあり、破損した USB フラッシュメモリーでは BD-LIVE 機能が正常に作動しないことがあります。
  このような行為により接続されていた USB フラッシュメモリーが破損した場合は、パソコンでフォーマットすることで、再び本機で利用することができます。
- BD-LIVE のインターネットコンテンツは、USB フラッシュメモリーに十分な空き容量がないとダウンロードできない可能性があります。この場合、十分な空き容量のある USB フラッシュメモリーと交換するか、設定メニューの [BD ストレージ消去] 項目からデータを消去してください (詳細は 23 ページを参照してください)。

お知らせ：

- BD-Liveのコンテンツは、プロバイダーが決めた領域ではアクセスが制限される可能性があります。
- **BD-LIVE コンテンツを挿入して再生できるまでに数分かかる場合があります。**
- **[BD-LIVE接続] の項目が [一部許可] に設定されていると、ディスクによっては BD-LIVE 機能が動作しない場合があります。[BD-LIVE 接続] の項目を [許可] に設定してください (22 ページ参照)。**
- **接続環境によって、インターネットへの接続に時間がかかる場合や、インターネットに接続されない場合があります。ブロードバンド回線への接続が必要条件です。**
- USB フラッシュメモリーを操作中に取り出さないでください。USB フラッシュメモリーが破損する可能性があります。再生を停止し、先にメニューをオフしてください。

ヒント：

特殊な映像データなどは BD-Live 機能を利用すると、USB フラッシュメモリーにダウンロードしながら再生することができます。環境によっては、再生が一時停止してしまう場合もあります。

ダウンロードされていないセクションにスキップしないように動作を制限する機能もあります。

AACS オンライン

BD-LIVE 機能に対応しているディスクが再生されている場合、本機やディスクの ID をインターネット経由でコンテンツ提供者に送信することができます。
ディスクによって、提供されるサービスや機能は違います。

— このような ID を使ってサーバに閲覧歴を記録すると、類似している映画を紹介してもらうことができます。

— また、ゲームのスコア歴を保存することもできます。

サブトラック映像 (ピクチャー・イン・ピクチャー機能) とサブトラック音声を再生する

サブトラック映像は、ピクチャー・イン・ピクチャー機能に対応しているディスクから再生することができます。再生方法については、ディスクの説明書を参照してください。

— サブトラック映像をオン/オフするには、PIP を押してください。サブトラック映像が再生されます。ボタンを押してオン/オフします。

— サブトラック映像でオーディオをオン/オフするには、PIP 音声を押します。サブトラック音声が再生されます。ボタンを押してオン/オフします。

お知らせ：

- 常に本機の設定に応じてディスクが再生されるわけではありません。ディスクによって優先される再生のフォーマットが違います。
- サーチ/スローモーション/コマ送りをしている間は、メイントラック映像のみが再生されます。
- サブトラック映像をオフにすると、サブトラック音声は再生されません。
- ディスクによって、この機能が動作しない場合があります。

VR フォーマット記録の DVD ディスクの再生

本機では、VR フォーマットで録画された DVD-RW ディスクを再生することができます。

1. ディスクを挿入してトレイを閉めます。
   [ムービー] メニューがテレビ画面に表示されます。

2. ▲ / ▼ を押してタイトルを選択し、► (再生) を押して再生を開始します。
   いろいろな再生機能をお楽しみいただけます。
   24 ～ 27 ページ参照。
3. ディスクメニューを押してメニューリストに移動します。

お知らせ：

- [ムービー] メニューでは、赤または青色のボタンで前/次のページに移動します。
- ファイナライズされていない VR フォーマットの DVD ディスクは、本機では再生されない可能性があります。
- VR モードの DVD ディスクでは、DVD レコーダーによる CPRM 対応のメディアもあります。本機は CPRM 対応のディスクの再生に対応しています。

  CPRM とは？
  CPRM とは、一回のみ録画可能（コピーワンス）な放送番組を記録するためのコピー制御技術（暗号鍵システム）です。CPRM は、Content Protection for Recordable Media（記録可能なメディアの著作権保護）の略語です。

ムービーメニュー項目

1. ▲ / ▼ で [ムービー] メニューからタイトルを選択し、決定を押します。
   メニューの項目が表示されます。
2. ▲ / ▼ でオプションを選択し、決定を押します。

- **[再生]** 選択したタイトルを再生します。
- **[再生を再開します。]** 前回再生を停止した位置から再生を開始します。
- **[戻る]** メニューを終了します。戻るボタンを押しても終了できます。

操作

DivX ムービーファイルの再生

本機では、DivX ファイルを再生することができます。DivX ファイルを再生する前には、右コラムの「動画ファイルの条件」をお読みください。

1. DivX ファイルを含むディスクを挿入するか、DivX ファイルを含む USB フラッシュメモリーを接続します。
2. ホームを押して、ホームメニューを表示します。
3. [ムービー] を選択してから決定を押します。
   [ムービー] メニューがテレビ画面に表示されます。

   お知らせ:
   USB フラッシュメモリーとディスクが同時に挿入されている場合は、メディアを選択するメニューが表示されます。メディアを選択してから、決定を押してください。

4. ▲ / ▼ を押してファイルを選択し、► (再生) を押して再生を開始します。
   いろいろな再生機能をお楽しみいただけます。
   24 ～ 27 ページ参照。
5. ディスクメニューを押してメニューリストに移動します。

お知らせ:
[ムービー] メニューでは、赤または青色のボタンで前/次のページに移動します。

ムービーメニュー項目

1. ▲ / ▼ で [ムービー] メニューからタイトルを選択し、決定を押します。
   メニューの項目が表示されます。
2. ▲ / ▼ でオプションを選択し、決定を押します。

- **[再生]** 選択したタイトルを再生します。
- **[再生を再開します。]** 前回再生を停止した位置から再生を開始します。
- **[戻る]** メニューを終了します。戻るボタンを押しても終了できます。

DivX ファイルでの字幕表示の注意

字幕言語が正しく表示されない場合は、再生中に字幕を 3 秒間押します。言語コードが表示されます。字幕が正しく表示されるまで ◄ / ► を押し続けて別の言語コードを選択し、決定を押します。

動画ファイルの条件

本機と互換性のある DivX ファイルは、以下に記載されているように制限されています。

- 利用可能な解像度のサイズ:
  DIVX 3.xx – DIVX 6.xx:720 x 576 (横 x 縦) ピクセル
  XVID、H.264/MPEG-4 AVC: 1920 x 1080 (横 x 縦) ピクセル
- DivX と字幕言語のファイル名の制限文字数は 50 文字。
- DivX拡張子:「avi」、「divx」
- その他の拡張子:「.mpg」、「.mpeg」、「.mp4」、「.mkv」
- 再生可能な DivX 字幕ファイル形式:
  SubRip (.srt / .txt)、SAMI (.smi)、
  SubStation Alpha (.ssa/.txt)、MicroDVD (.sub/.txt)、
  SubViewer 2.0 (.sub/.txt)、TMPlayer (.txt)、
  DVD Subtitle System (.txt)
- 再生可能なコーデック フォーマット:「DIVX3.xx」、「DIVX4.xx」、「DIVX5.xx」、「XVID」、「DIVX6.xx」（標準再生のみ）、H.264/MPEG-4 AVC
- 本機搭載の DivX 6.0 は再生機能のみに対応。
- 再生可能な音声フォーマット:「Dolby Digital」、「DTS」、「MP3」、「WMA」、「AAC」
- サンプリング周波数:8～48 kHz (MP3)、
  32～48 kHz (WMA) の範囲内
- ビットレート: 8～320 kbps (MP3)、
  32～164 kbps (WMA) の範囲内
- CD-R/RW、DVD-R/RWおよび+R/+RW、BD-R/RE 形式:
  ISO 9660+JOLIET、UDF および UDF Bridge 形式
- 最大ファイル/フォルダー数
  650 まで（ファイルおよびフォルダーの合計数）
- すべての WMA オーディオ フォーマットとの互換性はありません。
- 本機は、H.264/MPEG-4 AVC profile Main、最大音量 Level 4.1 までに対応します。Level 4.1 を超えるレベルのファイルには、再生するか質問をします。
- 字幕ファイルの表示は、「.mpg」および「.mpeg」の拡張子のビデオファイルには利用できません。
- CD または USB 1.0/1.1 に記録されている HD ムービーファイルは、適切に再生されないことがあります。HD ムービーファイルを再生するには、BD、DVD、USB 2.0 を推奨します。

オーディオ CD、MP3/ WMA ファイルの再生 ACD MP3 WMA

本機では、オーディオCD や MP3/WMA ファイルを再生することができます。MP3/WMA ファイルを再生する前に、右コラムの「MP3/WMA オーディオファイルの必要条件」をお読みください。

1. オーディオ CD または MP3/WMA ファイルを含むディスクを挿入するか、MP3/WMA ファイルを含む USB フラッシュメモリーを接続します。
2. ホームを押して、ホームメニューを表示します。
3. [音楽] を選択して、決定を押します。
   [音楽] メニューがテレビ画面に表示されます。

   お知らせ:
   USB フラッシュメモリーとディスクが同時に挿入されている場合は、メディアを選択するメニューが表示されます。メディアを選択してから、決定を押してください。

例）オーディオCD

4. ▲/▼ でトラックまたはファイルを選択してから ► (再生) を押します。再生を開始します。
   いろいろな再生機能をお楽しみいただけます。
   24 ～ 27 ページ参照。
5. ■ (停止) を押して、いつでも再生を停止することができます。

ヒント:

- 曲やファイルを直接選択して再生するには、数字ボタン（0～9）で曲番号やファイル番号を入力します。
- オーディオ CD を挿入すると、自動的に再生を開始することがあります。
- フォルダーを選択して決定を押すと、フォルダー中のファイルを閲覧することができます。上の階層のディレクトリに移動するには、◄ または ▲/▼ で [UP Folder] を選択し、決定を押します。
- [音楽] メニューでは、赤または青色のボタンで前/次のページに移動します。
- 再生中の曲とイコライザー表示は対応していません。
- ファイル名に使用できないコードがある場合は、正しく表示されない可能性があります。

[音楽] メニューについて

1. ▲ / ▼ で [音楽] メニューから曲やファイルを選択し、決定を押します。
   メニューの項目が表示されます。
2. ▲ / ▼ でオプションを選択し、決定を押します。

- **[再生]** 選択した曲やファイルを再生をします。
- **[再生を選択]** 印を付けた曲やファイルのみを再生します。マーカーを使って、複数のファイルや曲を選択します。
  トラックまたはファイルに登録したマーカーは、マークのないトラックまたはファイルを選んでから [再生] を選択したり ► (再生) を押したりすると解除されます。
- **[ランダム]** ランダム再生の開始または停止をします。
  ランダム再生中に ►►I を押すと、別の曲を選択してからランダム再生を再開します。
- **[マークを全て外す。]** 印を付けたすべてのファイルや曲の印を外します。
- **[戻る]** メニューを終了します。戻るボタンを押しても終了できます。

お知らせ:
[再生を選択] と [ランダム] 機能を同時に利用することはできません。

MP3/WMA オーディオファイルの必要条件

ファイル拡張子:「.mp3」、「.wma」

サンプリング周波数: 8～48 kHz (MP3)、32～48kHz (WMA) の範囲内

ビットレート: 8～320 kbps (MP3)、32～164 kbps (WMA) の範囲内

CD-R/RW、DVD-R/RWおよび+R/+RW、BD-R/RE 形式:
ISO 9660+JOLIET、UDF および UDF Bridge 形式

最大ファイル/フォルダー数
650 まで（ファイルおよびフォルダーの合計数）

MP3/WMA ファイルについての注記

- MP3/WMA ファイルのサイズやファイル数によっては、メディアのコンテンツの読み込みに数分かかる場合があります。
- 本機は、MP3 ファイルの ID3 タグに対応していません。
- 画面に表示される VBR ファイルのトータル再生時間は正確でない場合があります。

写真ファイルを見る PHOTO

本機では、写真ファイルを再生することができます。写真ファイルを再生する前に、以下の「写真ファイルの必要条件」をお読みください。

1. 写真ファイルを含むディスクを挿入するか、写真ファイルを含む USB フラッシュメモリーを接続します。
2. ホームを押して、ホームメニューを表示します。
3. [写真] を選択して、決定を押します。
   [写真] メニューがテレビ画面に表示されます。

   お知らせ：
   USB フラッシュメモリーとディスクが同時に挿入されている場合は、メディアを選択するメニューが表示されます。メディアを選択してから、決定を押してください。

4. ▲▼◄► でファイルを選択してから、決定を押します。選択した画像がフルスクリーンで表示されます。

5. ■ (停止) を押して、いつでも閲覧を停止することができます。
   写真メニューが表示されます。

ヒント：

- 特定のファイルを直接選択するには、数字ボタン（0〜9）でファイルの番号を入力します。
- ◄◄ や ►►| を押すと、フルスクリーンで写真ファイルを見ながら前後のファイルに進むことができます。
- [写真] メニューが表示されている間に ► (再生) を押してスライドショーを開始することができます。スライドショーを開始するには、写真ファイルを含むフォルダー、または写真ファイルを選択してから ► (再生) を押します。
- フォルダーを選択して決定を押すと、フォルダー中のファイルを閲覧することができます。上の階層のディレクトリに移動するには、▲/▼/◄/► で [UP Folder] を選択し、決定を押します。
- [写真] メニューでは、赤または青色のボタンで前後のページに移動します。
- ファイル名に使用できないコードがある場合は、違法として表示される可能性があります。

フルスクリーンで写真ファイルを見ながらできること

フルスクリーンでの写真の閲覧中に多彩なオプションをお楽しみいただけます。▲▼◄► で項目を選択し、以下に記載されているオプションをご利用ください。

1 ◄► で前後のファイルに進みます。

2 決定を押して、スライドショーを開始/停止します。

3 決定を押して、BGM を再生または一時停止します。このオプションは、[音楽を選択] 項目で BGM を選択するとご利用できます。

4 決定を押して写真を時計回りに回転させます。このオプションは、スライドショーの再生中はご利用できません。

5 決定を押してスライドショーのスピードを設定します。

6 BGM を選択します。
   1) 決定を押してメニューを表示します。
   2) ▲▼◄► で音楽ファイルのあるメディアやフォルダーを選択します。
   3) 決定を押して選択を決定します。

7 決定を押してオプションメニューを終了します。メニューをもう一度表示する場合は、決定を押します。

写真ファイルの必要条件：

ファイル拡張子：「.jpg」、「.jpeg」、「.png」,「.gif」

推奨サイズ：

3,000 x 3,000 ピクセル/ 24 ビット未満

3,000 x 2,250 ピクセル/ 32 ビット未満

CD-R/RW、DVD-R/RWおよび+R/+RW、BD-R/RE 形式：
ISO 9660+JOLIET、UDF および UDF Bridge 形式

最大ファイル/フォルダー数
650 まで（ファイルおよびフォルダーの合計数）

写真ファイルについてのお知らせ

- 可逆圧縮（ロスレス圧縮）の写真ファイルには対応していません。
- 写真ファイルのサイズやファイル数によって、メディアのコンテンツの読み込みに数分かかる場合があります。

その他

言語コード

このリストを使用して、希望する言語を初期設定に入力してください: [ディスク オーディオ], [ディスク サブタイトル], [ディスク メニュー]。

言語	コード
アブハジア語	6566
アファル語	6565
アフリカーンス語	6570
アルバニア語	8381
アムハラ語	6577
アラブ語	6582
アルメニア語	7289
アッサム語	6583
アイマラ語	6589
アゼルバイジャン語	6590
バシキール	6665
バスク語	6985
ベンガル語	6678
ブータン語	6890
ビハール語	6672
デルターニュ語	6682
ブルガリア語	6671
ビルマ語	7789
ベロルシア語	6669
カンボジア語	7577
カタロニア語	6765
中国語	9072
コルシカ語	6779
クロアチア語	7282
チェコ語	6783
デンマーク語	6865
オランダ語	7876
英語	6978
エスペラント語	6979
エストニア語	6984
フェロー語	7079
フィジー語	7074
フィンランド語	7073
フランス語	7082
フリジア語	7089
ガリシア語	7176
グルジア語	7565
ドイツ語	6869
ギリシャ語	6976
グリーンランド語	7576
グアラニー語	7178
グジャラト語	7185
ハウサ語	7265
ヘブライ語	7387
ヒンディー語	7273
ハンガリー語	7285
アイスランド語	7383
インドネシア語	7378
インターリングア語	7365
アイルランド語	7165
イタリア語	7384
日本語	7465
ジャワ語	7487
カンナダ語	7578
カシミール語	7583
カザフ語	7575
キルギス語	7589
韓国語	7579
クルド語	7585
ラオス語	7679
ラテン語	7665
ラトビア語	7686
リンガラ語	7678
リトアニア語	7684
マケドニア語	7775
マダガスカル語	7771
マライ語	7783
マラヤーラム語	7776
マルタ語	7784
マオリ語	7773
マラッタ語	7782
モルダビア語	7779
モンゴル語	7778
ナウル語	7865
ネパール語	7869
ノルウェー語	7879
オーリヤ語	7982
パンジャブ語	8065
パシュト語	8083
イラン語	7065
ポーランド語	8076
ポルトガル語	8084
ケチュア語	8185
ラエト語	8277
ルーマニア語	8279
ロシア語	8285
サモア語	8377
梵語	8365
スコットランド高地ゲール語	7168
セルビア語	8382
セルボ クロアチア語	8372
ショナ語	8378
シンド語	8368
シンハリー語	8373
スロバキア語	8375
スロベニア語	8376
ソマリショナ語	8379
スペイン語	6983
スーダン語	8385
スワヒリ語	8387
スウェーデン語	8386
タガログ語	8476
タジク語	8471
タミール語	8465
タタール語	8484
テルグ語	8469
タイ語	8472
チベット語	6679
ティグリニア語	8473
トンガ語	8479
トルコ語	8482
トルクメン語	8475
トウィ語	8487
ウクライナ語	8575
ウルドゥー語	8582
ウズベク語	8590
ベトナム語	8673
ボラビュック語	8679
ウェールズ語	6789
ウォロフ語	8779
ホサ語	8872
イディッシュ語	7473
ヨルバ語	8979
ズールー語	9085

エリアコード

このリストからエリアコードを選択してください。

地域	コード
アフガニスタン	AF
アルゼンチン	AR
オーストラリア	AU
オーストリア	AT
ベルギー	BE
ブータン	BT
ボリビア	BO
ブラジル	BR
カンボジア	KH
カナダ	CA
チリ	CL
中国	CN
コロンビア	CO
コンゴ	CG
コスタリカ	CR
クロアチア	HR
チェコ共和国	CZ
デンマーク	DK
エクアドル	EC
エジプト	EG
エルサルバドル	SV
エチオピア	ET
フィジー	FJ
フィンランド	FI
フランス	FR
ドイツ	DE
英国	GB
ギリシャ	GR
クリーンランド	GL
アイランド	HM
香港	HK
ハンガリー	HU
インド	IN
インドネシア	ID
イスラエル	IL
イタリア	IT
ジャマイカ	JM
日本	JP
ケニア	KE
クウェート	KW
リビア	LY
ルクセンブルク	LU
マレーシア	MY
モルディブ諸島	MV
メキシコ	MX
モナコ	MC
モンゴル	MN
モロッコ	MA
ネパール	NP
オランダ	NL
オランダ領アンティル諸島	AN
ニュージーランド	NZ
ナイジェリア	NG
ノルウェー	NO
オマーン	OM
パキスタン	PK
パナマ	PA
パラグアイ	PY
フィリピン	PH
ポーランド	PL
ポルトガル	PT
ルーマニア	RO
ロシア連邦	RU
サウジアラビア	SA
セネガル	SN
シンガポール	SG
スロバキア共和国	SK
スロベニア	SI
南アフリカ	ZA
韓国	KR
スペイン	ES
スリランカ	LK
スウェーデン	SE
スイス	CH
台湾	TW
タイ	TH
トルコ	TR
ウガンダ	UG
ウクライナ	UA
合衆国	US
ウルグアイ	UY
ウズベキスタン	UZ
ベトナム	VN
ジンバブエ	ZW

よくあるトラブルと解決方法

症状	チェック項目	対処方法
電源が入らない。	● 電源プラグが外れている。	● 電源プラグを壁のコンセントに確実に接続してください。
電源はオンになるが、本機が機能しない。	● ディスクが挿入されていない。	● ディスクを挿入してください。
画像が映らない。	● 本機からのビデオ出力信号に対するテレビの設定が正しくない。	● 適切な入力モードをテレビ側で選択してください。
	● ビデオケーブルが確実に接続されていない。	● ビデオケーブルを確実に接続してください。
	● 本機にて選択した解像度にテレビが対応していない。	● 解像度ボタンを使用して、別の解像度を選択してください。
音声が出ない。	● オーディオケーブルで接続した機器が、本機からの出力信号を正しく入力できるように設定されていない。	● オーディオ機器の入力モードを、本機からの出力に対し正しく選択してください。
	● オーディオケーブルが接続されている機器の電源がオフになっている。	● オーディオケーブルが接続されている機器の電源をオンにしてください。
	● [オーディオ] 項目が正しく設定されていない。	● [オーディオ] 項目を正しく設定してください (20 ページ参照)。
	● 逆再生、早送り、スローモーション、または一時停止モードになっている。	● 通常の再生に戻してください。
プレイヤーが再生しない。	● ディスクが表裏逆で挿入されている。	● 再生面を下にしてディスクを挿入してください。
	● 再生できないディスクが入っている。	● 再生可能なディスクを挿入してください（ディスクの種類とリージョン番号を確認してください）。
	● 視聴制限が設定されている。	● 視聴制限を変更してください。
	● 別の機器で録画されたディスクがファイナライズされていない。	● 収録した機器でディスクをファイナライズしてください。
BD-LIVE 機能が動作しない。	● USB フラッシュメモリーが接続されていない。	● FAT16 または FAT32 形式の USB フラッシュメモリーを USB ポートに接続してください (10 ページ参照)。
	● 接続されている USB フラッシュメモリーの空き容量が不足している。	● BD-LIVE 機能に使用する USB フラッシュメモリーは、最低でも 1 GB 以上の空き容量があることを確認してください。
	● インターネットの接続が確立されていない。	● 本機がローカルエリアネットワーク（LAN）に正しく接続され、インターネットにアクセスできる環境であるか確認してください (16 ページ参照)。
	● BD-LIVE 機能を利用するには、ブロードバンド回線の速度が十分な速さではない。	● ご利用のインターネットサービスプロバイダ（ISP）にお問い合わせいただき、ブロードバンド回線の速度を速くすることを推奨します。
	● [設定] メニューの [BD-LIVE 接続] の項目が [禁止] に設定されている。	● [BD-LIVE 接続] の項目の設定を [許可] にします。
リモコンが正常に機能しない。	● 本機のリモコン受光部に向けてリモコンを操作していない。	● リモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。
	● リモコンと本機との距離が離れている。	● 本機の近くでリモコン操作をしてください。
システムが全く動作しない。	● 状態が不安定。	● 電源コードをコンセントから抜いて、5 秒以上待ってから再度差し込んでください。

仕様

一般

電源:	AC 100 V~、50/60 Hz
消費電力 (待機時):	18W (最大 1 W)
外形寸法 (幅 x 高さ x 奥行):	約 430 x 54 x 245 mm (脚を含まず)
本体質量 (概算):	2.8 kg
許容周囲温度:	5 °C 〜 35 °C
許容相対湿度:	5 % 〜 90 %

出力

映像:	1.0 V (p-p)、75 Ω、ネガティブ sync.、ピンジャック 1系統
コンポーネント/ プログレッシブスキャン:	(Y 出力レベル) 1.0 V (p-p)、75 Ω、ネガティブ sync.、ピンジャック 1系統、 (Pb/Pr 出力レベル) 0.7 V (p-p)、75 Ω、ピンジャック 2系統
D端子出力 (D5 まで):	14-ピン, 2-ライン, 12.7mm-ピッチ, (Y) 1.0V (p-p), 75Ω (Pb)/(Pr) 0.7V (p-p), 75Ω
HDMI 出力 (映像/音声):	19 ピン (HDMI 標準、Type A 端子)
アナログオーディオ出力:	2.0 Vrms (1 kHz, 0 dB)、600 Ω、ピンジャック (L、R) 1系統
DIGITAL OUT (同軸) 端子:	0.5 V (p-p)、75 Ω、ピンジャック 1系統
DIGITAL OUT (光) 端子:	3 V (p-p)、光コネクター 1系統

システム

レーザー:	半導体レーザー、波長: 405nm / 650 nm
信号システム:	標準 NTSC テレビ放送システム
周波数特性:	20 Hz 〜 20 kHz (48 Hz、96 kHz、192 kHz サンプリング)
S/N 比:	100 dB 以上 (ANALOG OUT 端子の接続に限る)
全高調波歪率:	0.008% 未満
ダイナミックレンジ:	95 dB 以上
LAN ポート:	Ethernet コネクター 1系統、10BASE-T/100BASE-TX
バスパワーサプライ:	DC 5 V ⎓ 500 mA
付属品:	ビデオケーブル (1本) オーディオケーブル (1本) リモコン (1個) 乾電池 (1本)

お知らせ: デザインや仕様は予告なしに変更することがあります。

本機でのオーディオ出力の仕様

端子と設定 / 種類	アナログ出力 ステレオ	SPDIF (DIGITAL AUDIO OUT)		
		PCM ステレオ	DTS 再エンコード *3	プライマリパススルー *1
Dolby Digital	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	Dolby Digital
Dolby Digital Plus	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	Dolby Digital
Dolby TrueHD	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	Dolby Digital
DTS	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	DTS
DTS-HD	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	DTS
Linear PCM 2ch	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	PCM 2ch
Linear PCM 5.1ch	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	PCM 2ch
Linear PCM 7.1ch	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	PCM 2ch

端子と設定 / 種類	HDMI OUT			
	PCM ステレオ	PCM Multi-Ch	DTS 再エンコード *3	プライマリパススルー *1, *2
Dolby Digital	PCM 2ch	PCM 5.1ch	DTS	Dolby Digital
Dolby Digital Plus	PCM 2ch	PCM 7.1ch	DTS	Dolby Digital Plus
Dolby TrueHD	PCM 2ch	PCM 7.1ch	DTS	Dolby TrueHD
DTS	PCM 2ch	PCM 5.1ch	DTS	DTS
DTS-HD	PCM 2ch	PCM 5.1ch	DTS	DTS-HD
Linear PCM 2ch	PCM 2ch	PCM 2ch	DTS	PCM 2ch
Linear PCM 5.1ch	PCM 2ch	PCM 5.1ch	DTS	PCM 5.1ch
Linear PCM 7.1ch	PCM 2ch	PCM 7.1ch	DTS	PCM 7.1ch

お知らせ:

*1 [SPDIF] または [HDMI] 項目が [プライマリパススルー] に設定されていると、サブトラック音声とインタラクティブ オーディオはビットストリーム出力に混合されません (リニア PCM コーデックは除きます。インタラクティブ オーディオとサブトラック音声は常に混合されて出力されます)。

*2 本機は、[HDMI] 項目が [プライマリパススルー] に設定されていても、接続している HDMI 機器のデコーディング機能に応じて自動的に HDMI オーディオを選択します。

*3 [HDMI] または [SPDIF] 項目が [DTS再エンコード] に設定されていると、オーディオ出力は 48 kHz の 5.1 Ch に制限されます。[HDMI] または [SPDIF] 項目が [DTS再エンコード] に設定されていると、DTS 再エンコード オーディオはサブトラック音声かインタラクティブ オーディオでBD-ROM ディスクから出力されます。または、元のオーディオがその他のディスク([プライマリパススルー] など)に出力されます。

- 再生オーディオは、MP3/WMA ファイルでは PCM 48 kHz/16 ビット で出力され、オーディオCD では PCM 44.1kHz/16 ビット で出力されます。

オープン ソース ソフトウェアに関するお知らせ

本機には以下のソフトウェアが含まれています。

- Free Type ライブラリ：copyright © 2003 The FreeType Project (www.freetype.org)
- Zlib 圧縮ライブラリ：Copyright © 1995- 2002 Jean-loup Gailly and Mark Adler
- Expat ライブラリ：copyright © 2006 expat 管理者
- OpenSSL ライブラリ：
  - Eric Young により記述された暗号書記法ソフトウェア (eay@cryptsoft.com)。
  - Tim Hudson により記述されたソフトウェア (tjh@cryptsoft.com)。
  - OpenSSL Project により OpenSSL Toolkit 用に開発されたソフトウェア。(http://www.openssl.org)

本機はその他のオープンソースソフトウェアを含んでいます。

- Copyright © 1995, 1996, 1997 Kungliga Tekniska Hogskolan（Royal Institute of Technology、ストックホルム、スウェーデン）
- Copyright © 1995-2008 International Business Machines Corporation and others
- Copyright © 1999, ASMUS, Inc.

すべての人は、以下の条件を満たす限りにおいて、本ソフトウェアおよび関連文書ファイル（以下「ソフトウェア」といいます）を複製すること、そしてこれを使用、複製、変更、結合、掲載、頒布、サブライセンス、または販売する権利、およびソフトウェアを提供する相手に同じことを許可する権利を含むがこれに限定されないという、制限のない取り扱いが無償で許可されます。

本ソフトウェアは、明示的にも黙示的にも、商品性や特定の目的への適合性、または非侵害の保証を含みますがこれに限定されない、何ら保証をするものではない「現状有姿」で提供されます。いかなる場合においても、本ソフトウェアの著作者または著作権保持者は、契約行為、不法行為あるいはその他の行為であろうと、本ソフトウェアの使用、またはその他の本ソフトウェアの取り扱いから生じる、またこれに関係するか否かに関わらず、いかなるクレーム、損害、または他の義務に対して一切責任を負わないものとします。

- HarfBuzz

いかなる場合においても、本ソフトウェアの著作権保持者は、本ソフトウェアおよび本仕様書の使用から生じる、直接的、間接的、特別の、付随的、派生的な損害に対して、そのような損害について訴追を受けたとしても、いかなる当事者に対しても一切責任を負わないものとします。

著作権保持者は、商品性、特定の目的への適合性の黙示的な保証を含みますがこれに限定されない、いかなる保証を放棄することを明言します。本ソフトウェアは、「現状有姿」にて提供され、著作権保持者が維持、サポート、更新、改良、修正を提供する義務を負いません。

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
【出張修理専門】のご相談窓口			
◎が付いている拠点については出張修理のご依頼、ご相談は下記の番号で承ります。			
出張修理受付センター		(0800)800-9928（フリーアクセス・ひかりワイド） ※携帯電話・PHSなどからのご利用は、下記の番号へおかけ願います。	
		(047)305-7731	千葉県浦安市当代島二丁目13-27
北海道			
北海道	札　幌S.C.	(011)898-1180	札幌市厚別区厚別東五条一丁目2-29
	帯広S.S.	(0155)24-4493	帯広市西5条南28丁目1-1 有限会社オーイーエム内
東北			
青森	青　森S.C.	(017)723-2261	青森市桂木四丁目6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	八戸市諏訪二丁目2-36
岩手	盛　岡S.C.	(019)637-0121	盛岡市津志田西二丁目3-20
秋田	秋　田S.C.	(018)824-3189	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	大館市美園町5-6
宮城	仙　台S.C.	(022)287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形S.S.	(023)642-0279	山形市松山三丁目12-18
福島	郡　山S.C.	(024)952-6331	郡山市堤一丁目3
関東・甲信越			
新潟	◎新　潟S.C.	(025)242-3431	新潟市中央区鐙一丁目5-23
長野	◎長　野S.C.	(026)221-6583	長野市大字川合新田962-1
群馬	◎前　橋S.C.	(027)255-5921	前橋市大渡町一丁目10-1 日本ビクター（株）前橋工場第2棟1F
栃木	◎宇都宮S.C.	(028)638-1639	宇都宮市東宿郷三丁目5-22
千葉 茨城	◎千　葉S.C.	(043)202-0263	千葉市中央区中央三丁目9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	◎柏　S.C.	(04)7175-4322	柏市豊四季512-10-67
埼玉	◎大　宮S.C.	(048)654-5241	さいたま市北区大成町4丁目503
神奈川	◎横　浜S.C.	(045)450-6211	横浜市神奈川区新浦島町1丁目1-25 テクノウェイブ100ビル1F
	◎海老名S.C.	(046)234-4500	海老名市東柏ヶ谷六丁目19-26
東京 山梨	◎東東京S.C.	(03)6381-8400	墨田区八広五丁目11-1石塚ビル1F
	◎大　田S.C.	(03)5748-3701	大田区池上二丁目8-10 プラムビル1F
	◎八王子S.C.	(042)646-6914	八王子市石川町2969-2 日本ビクター（株）八王子工場 第4棟
【業務用機器専門】のご相談窓口			
CSセンター		(03)5631-2235	墨田区八広五丁目11-1
静岡			
静岡	静　岡S.C.	(054)204-0050	静岡市駿河区高松一丁目16-14

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
東海・北陸			
愛知 岐阜 三重	名古屋S.C.	(0568)25-3235	北名古屋市九之坪鴨田121-1
	三　河S.C.	(0564)25-0321	岡崎市葵町2-23 宝ビル101号室
石川 富山 福井	金　沢S.C.	(076)269-4821	金沢市新保本4丁目65-17
近畿			
京都 滋賀	◎京　都S.C.	(075)644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
兵庫	◎神　戸S.C.	(078)652-4600	神戸市兵庫区北逆瀬川町1-6 北逆瀬川マンション1F
大阪 奈良 和歌山	◎大　阪S.C.	(06)6304-5735	大阪市淀川区田川二丁目4-28
【業務用機器専門】のご相談窓口			
メンテナンスセンター		(06) 6304-6715	大阪市淀川区田川二丁目4-28
中国			
岡山	岡　山S.C.	(086)243-1566	岡山市西古松西町8-23
広島	福山S.S.	(084)931-6984	福山市南蔵王町三丁目5-15
	広　島S.C.	(082)243-9839	広島市中区光南三丁目9-17
山口	山口S.S.	(083)973-3708	山口市小郡花園町5-28
山陰			
島根	松　江S.C.	(0852)31-8900	松江市学園一丁目16-39
鳥取	鳥取S.S.	(0857)23-2151	鳥取市千代水一丁目22-1
四国			
香川 徳島 高知 愛媛	高　松S.C.	(087)866-1200	高松市田村町205-1
九州・沖縄			
福岡 佐賀 長崎 大分 宮崎	福　岡S.C.	(092)707-0500	福岡市博多区沖浜町11-10 サンイースト福岡1F
	北九州S.S.	(093)921-3981	北九州市小倉北区片野二丁目15-12
熊本	熊　本S.C.	(096)353-4536	熊本市近見八丁目1-10
鹿児島	鹿児島S.S.	(099)282-8818	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖　縄S.C.	(098)898-3631	宜野湾市真志喜一丁目13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0109

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。
「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

この機器の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後８年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ご転居等で、保証書記載のお買い上げ販売店にご依頼になれない場合には、「ビクターサービス窓口案内」（別紙）をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　出張修理

34ページの「故障かな？と思ったら」に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したディスクなどのメディアもご用意ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	ブルーレイディスクプレーヤー
型　　名	XV-BP1
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も併せてお知らせください
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎（　　）　-

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品について、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

修　理　料　金　の　仕　組　み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、故障診断、修理および部品交換、調整、点検にかかる費用です。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

■ この製品の製造時期は本体の背面に表示されております。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社（以下、当社）にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  ①上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  ②法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。
転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
38 ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	**0120 − 2828 − 17** 携帯電話・PHS・FAX などからのご利用は **電話(045) 450 − 8950** **FAX(045) 450 − 2275** 〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

● ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、39 ページをご覧ください。
ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

0609SKMLGEEGL
P/N: MFL62026483